SUBARU
会社概況 2017

広報資料

目次

会社概要

1 概況　3

2 中期経営ビジョン　5

3 役員　8

4 組織　10

5 国内主要事業所　11

6 主な関係会社の概況　12

7 従業員の状況　14

8 施設　15

業績

1 連結売上高・利益の推移　16

2 単独売上高・利益・配当金の推移　17

自動車部門

1 生産　18

2 販売　20

3 輸出　22

4 コア技術　23

5 商品展開　26

6 国内販売代理店一覧　30

7 海外市場の概況　31

航空宇宙カンパニー

1 航空機機体生産の推移　32

2 防衛事業　主要製品　33

3 民間事業　主要製品　34

産業機器カンパニーについて　35

※産業機器カンパニーは2016年9月に自動車部門に統合しました。

※ 2017年9月末にて汎用エンジン・発電機等の生産・販売終了
を決定しました。（一部の車載用エンジン等を除く）

エコテクノロジーカンパニーについて　36

※エコテクノロジーカンパニーは2013年3月に廃止となりました。

沿革（2008年～2017年）

富士重工株式会社から株式会社SUBARUへ　37

※1917年～2007年の沿革につきましては、ホームページをご覧下さい。
（https://www.subaru.co.jp/outline/profile.html）

1 概況

（2017年3月末時点）

会社名※	株式会社SUBARU （英文表記：SUBARU CORPORATION）
創立	1953年（昭和28年）7月15日　創業：1917年（大正6年）5月
本社所在地	〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿1-20-8　エビススバルビル TEL 03-6447-8000
代表者	代表取締役社長　　吉永 泰之
主な事業内容	【自動車】自動車ならびにその部品の製造、販売および修理
	【航空宇宙】航空機、宇宙関連機器ならびにその部品の製造、販売および修理
株式	発行可能株式総数　1,500,000,000株 発行済株式総数　　769,175,873株 株主数　　82,017株
資本金	153,795 百万円
従業員総数 （役員、顧問、出向者を除く）	14,708 人（連結会社 合計 32,599人）

※2017年4月1日時点

■ 企業理念（1994年11月制定）

1. 私たちは常に先進の技術の創造に努め、お客様に喜ばれる高品質で個性のある商品を提供します。
2. 私たちは常に人・社会・環境の調和を目指し、豊かな社会づくりに貢献します。
3. 私たちは常に未来をみつめ国際的な視野に立ち、進取の気性に富んだ活力ある企業を目指します。

■ 品質方針（1994年11月制定）

常にお客様の満足を第一に考え、仕事の質を高めて、
トップクラスの品質の商品とサービスを提供する。

■ 環境方針（2017年4月改定）

（SUBARUの環境理念）

『大地と空と自然』がSUBARUのフィールド

自動車と航空宇宙事業を柱とするSUBARUの事業フィールドは、大地と空と自然です。
私たちは、この大地と空と自然が広がる地球の環境保護こそが、社会と当社の未来への持続性を可能とする最重要テーマと考え、すべての企業活動において取り組んでいきます。

1. 先進の技術で環境に貢献できる商品を開発、社会に提供

私たちは、環境と安全を第一に先進技術の創造に努め、地球環境保護に貢献できる商品を開発し、提供していきます。

2. 自然との共生を目指した取り組みに注力

私たちは、Co_2削減活動を全ての企業活動で取り組むとともに、森林保全に注力しアクティブに自然との交流を進める活動を支援していきます。

3. オールSUBARUでチャレンジ

私たちは、バリューチェーン全体を俯瞰出来る組織的特性を生かし、オールSUBARUチームで地球環境保護にチャレンジしていきます。

（環境行動指針）

SUBARUのフィールドは、大地と空と自然です。
大地と空と自然が広がる地球環境保護を重要な企業活動と捉え、あらゆる事業活動において、気候変動への対応、生物多様性など地球規模の環境課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

【商品】 私たちは環境に配慮し、且つライフサイクルを考慮した商品の設計と研究開発に取り組みます。
【調達】 私たちは生物多様性など環境保護に配慮した調達を実施します。
【生産】 私たちはエネルギーの有効活用、廃棄物の発生抑制・適正処理など環境負荷の低減に努めます。
【物流】 私たちはエネルギーの有効活用、汚染予防など環境負荷の低減に努めます。
【販売】 私たちは資源のリサイクル及び適正処理に取り組みます。
【管理】 私たちは社会のニーズに応じた貢献や情報公開、SUBARUチームとしての活動の統制と強化に取り組みます。

■ コーポレートシンボル（2003年7月15日設定）

会社創立50周年を機に、従来の社章（富士重工業の頭文字「フ」をモチーフにしたもの）に代わるものとして、
SUBARUの「六連星（むつらぼし）」マークをコーポレートシンボルと定めました。

■ 商標

スバル（1958年3月採用）

「すばる」は、別名「六連星」とも呼ばれる星団の名前で、純粋な日本語です。この星団は牡牛座に属し、プレアデス星団(Pleiades)の名でも知られています。
なお、自動車の名前に和名を使ったのはSUBARUが最初です。

■ブランドステートメント

Confidence in Motion（2010年11月設定）

“Confidence in Motion”は世界統一のブランドステートメントです。
「Confidence」は、SUBARUが貫いてきた「確かなクルマづくり」の姿勢と、「安心と愉しさ」をお約束し続けることにより築かれるお客様との信頼関係を表しています。
「in Motion」には、積極的に時代の動きを捉えて「Confidence」を進化させ、お客様の期待に応えて革新を続けていく強い意思を込めています。

SUBARUは、グローバルでの環境問題やモータリゼーションの成熟化などの大きな変化に対して、積極的に取り組んでいきます。

また、クルマは単なる移動手段ではなく、「愉しさ」をもたらす存在であるべきだと考えます。SUBARUにとって、クルマの「愉しさ」を支えるのは「安心」であり、「安心と愉しさ」は決して切り離すことができないものです。今後、お客様のクルマに求める期待がますます多様化するなか、SUBARUはより自由な発想で時代を先取りし、クルマの本質を見失うことなく「安心と愉しさ」を進化させていきます。

SUBARUは“Confidence in Motion”を通じてSUBARUならではの「クルマのある自由で愉しい生活」を提案し、自分らしい豊かな人生を求める、より多くのお客様の期待に応えるために、自らを革新し続けていきます。

SUBARU

SUBARU
Confidence in Motion

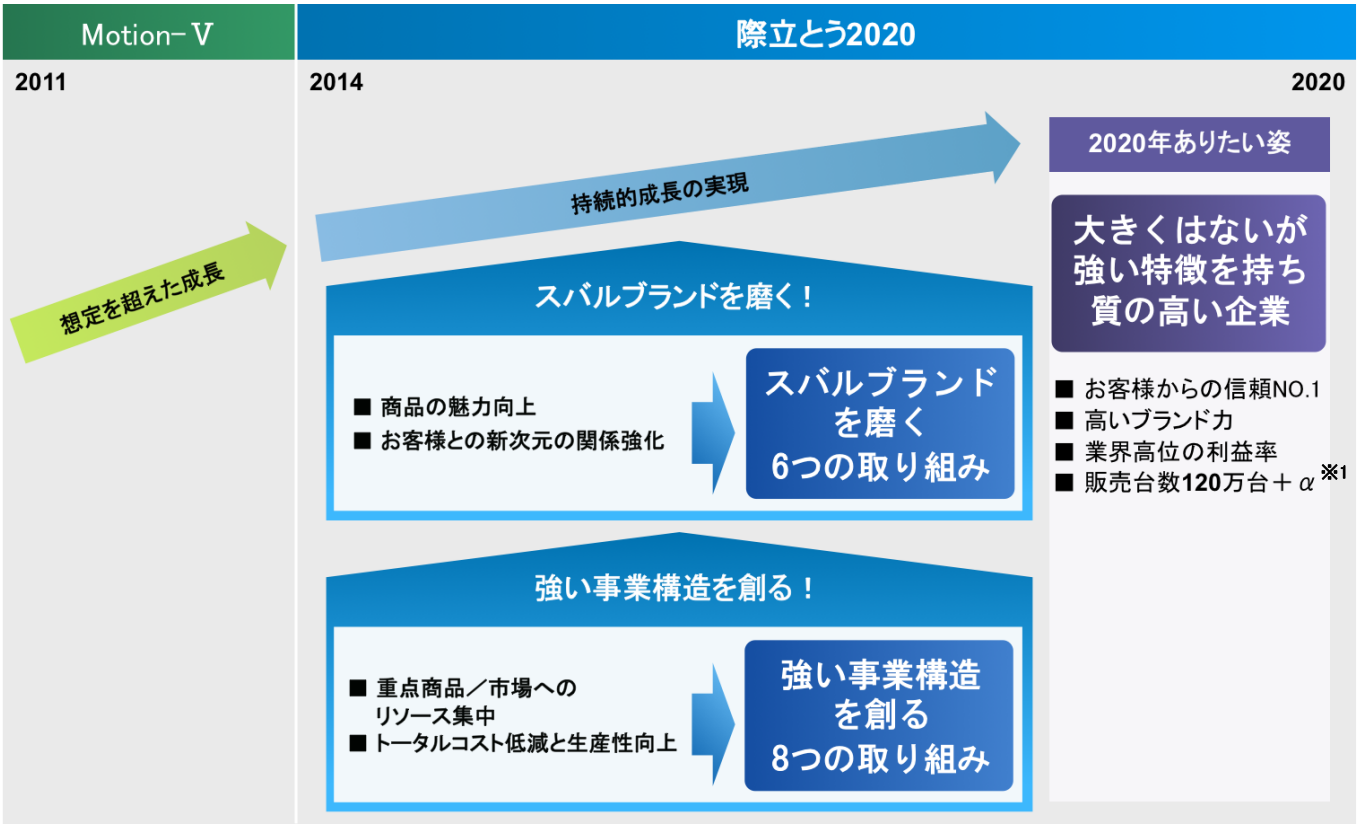
2 中期経営ビジョン　2014年5月発表（2017年5月改訂）

際立とう 2020（Prominence 2020）

当社は、新たなステージでの競争力強化と事業基盤整備を進め、持続的成長と発展を目指す中期経営ビジョン「際立とう 2020」（英文表記：Prominence 2020）を2014年5月に発表しました。

中期経営ビジョン「際立とう 2020」では、自動車メーカーとしては小規模な当社が持続的に成長していくために、2020年のありたい姿を「大きくはないが強い特徴を持ち質の高い企業」とし、その実現に向け「スバルブランドを磨く」「強い事業構造を創る」の2つの活動に集中し、付加価値経営を更に進め、環境変化への耐性を高めることに取り組んでいます。

お客様からの信頼NO.1、高いブランド力、業界高位の利益率など、SUBARUらしい存在感の実現に向け、確かなモノづくり、クルマづくりを貫き、お客様への「安心と愉しさ」の提供を追求し続けます。



「株式会社SUBARU」に社名を変更　2017年4月1日

当社は2017年4月1日付で、社名を「株式会社SUBARU」(英文表記：SUBARU CORPORATION)に変更しました。社名変更には、『モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ。』をスローガンに、私たちがこれから「価値を提供するブランド」として生きていくという決意表明を込めています。社名とブランド名の統一を実施することにより、現在取り組んでいる“スバルブランドを磨く”ことをさらに加速させ、SUBARUを自動車と航空宇宙事業における魅力あるグローバルブランドとして成長させていきます。

スバルブランドを磨く 6つの取り組み

①総合性能 ：基本走行性能と質感に拘り、更なる安心と愉しさを追求します。

②安全 ：全方位ですべての乗員、歩行者を守る総合安全ブランド NO.1 を目指します。

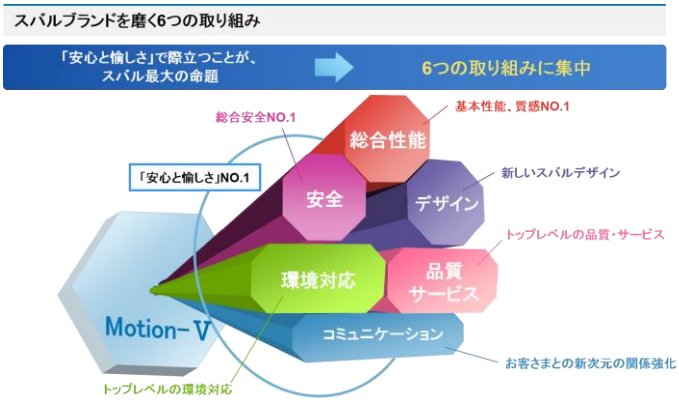
③デザイン ：DYNAMIC × SOLID をデザインコンセプトに新たなスバルらしさを表現します。

④環境 ：内燃機関対応、電動化対応の双方でトップレベルの環境性能を目指します。

⑤品質・サービス ：品質・サービス面でもお客様に喜ばれる信頼のブランドを目指します。

⑥コミュニケーション ：小さく個性的なブランドならではの、お客様とのより深い繋がりを目指します。





強い事業構造を創る 8つの取り組み

①商品戦略 ：SUV セグメントを中心にラインアップを強化し、新商品を間断なく投入します。

②市場戦略 ：北米を最重要、日本・中国を第二の柱とし、グローバルで 120 万台+α※1を目指します。

③生産戦略 ：海外生産比率を高め必要に応じ 113.2 万台※1への能力拡大を想定します。

④トータルコスト低減 ：2020 年に 20%の総合生産性向上を実現する全社活動を行っています。

⑤アライアンス ：更なるシナジーを創出します。

⑥航空事業 ：「自立」から「成長」への新たなステージへ向かいます。

⑦産機事業 ：2017年9月末にて汎用エンジン・発電機等の生産・販売終了を決定しました。（一部の車載用エンジン等を除く）※2

⑧人材育成、組織・風土 ：存在感と魅力ある企業に求められる人材・組織・風土を強化します。

3 ヵ年連結収益計画※1

《2014～2016年度》

・試験研究費、設備投資を積極的に拡大し将来に向けての基盤を築きます。

・先行投資拡大による固定費の増加を付加価値拡大とトータルコスト圧縮で吸収し、利益水準は維持します。

2014～16年度(3ヵ年)収益計画			
	2014年5月発表時	2015年5月発表時	2016年5月発表時
為替レート	¥95/US$	¥95/US$	¥100/US$
売上高	8兆円	–	8.5兆円
営業利益	1兆円	–	–
営業利益率	12.5%	–	11.8%
試験研究費	2,500億円(159%)	2,800億円(178%)	3,000億円(191%)
設備投資額	3,300億円(171%)	4,000億円(207%)	3,900億円(202%)
減価償却費	2,000億円(122%)	2,100億円(128%)	2,000億円(122%)

()内%は前3ヵ年(2011～13年度)対比

《2016～2018年度》

・将来成長のための投資はさらに増強しながらも増収増益を見込みます。

2016～18年度(3ヵ年)収益計画	
	2016年5月発表時
為替レート	¥100/US$
売上高	9.8兆円
営業利益	1.1兆円
営業利益率	11.2%
試験研究費	3,600億円(120%)
設備投資額	4,700億円(121%)
減価償却費	2,900億円(145%)

()内%は2014～16年度計画(2016年5月発表時)対比

財務方針

・持続的な成長への投資に積極的にキャッシュフローを配分します。

・投資の効率性や財務の健全性、株主還元に留意し、バランスのとれた財務戦略を実現します。

株主還元方針

・配当による還元を主とし、毎期の業績、投資計画、経営環境を勘案した上で継続的な配当を基本としつつ、業績連動の考えを取り入れます。

・各年度の配当は、連結配当性向　30%～50%※3 を基本とし、諸状況を勘案のうえ決定します。

※1:2016年5月改定
※2:2016年11月改定
※3:2017年5月改定

3 役員

（2017年6月23日時点）

取締役



近藤 潤（こんどう じゅん）
◆取締役会長
◇CQO（最高品質責任者）、
中国プロジェクト準備室、
航空宇宙カンパニー



吉永 泰之（よしなが やすゆき）
◆代表取締役社長
◇CEO（最高経営責任者）



日月 丈志（たちもり たけし）
◆代表取締役専務執行役員
◇CTO（最高技術責任者）、
マーケティング



笠井 雅博（かさい まさひろ）
◆取締役専務執行役員
◇製造、調達



岡田 稔明（おかだ としあき）
◆取締役専務執行役員
◇CFO（最高財務責任者）、経営企画部、
秘書室、財務管理部、人事部、
スバルネクストストーリー推進室



加藤 洋一（かとう よういち）
◆取締役常務執行役員
◇渉外部、経営管理本部



駒村 義範（こまむら よしのり）
◆社外取締役



青山 繁弘（あおやま しげひろ）
◆社外取締役

※氏名、◆役名、◇主な担当分野

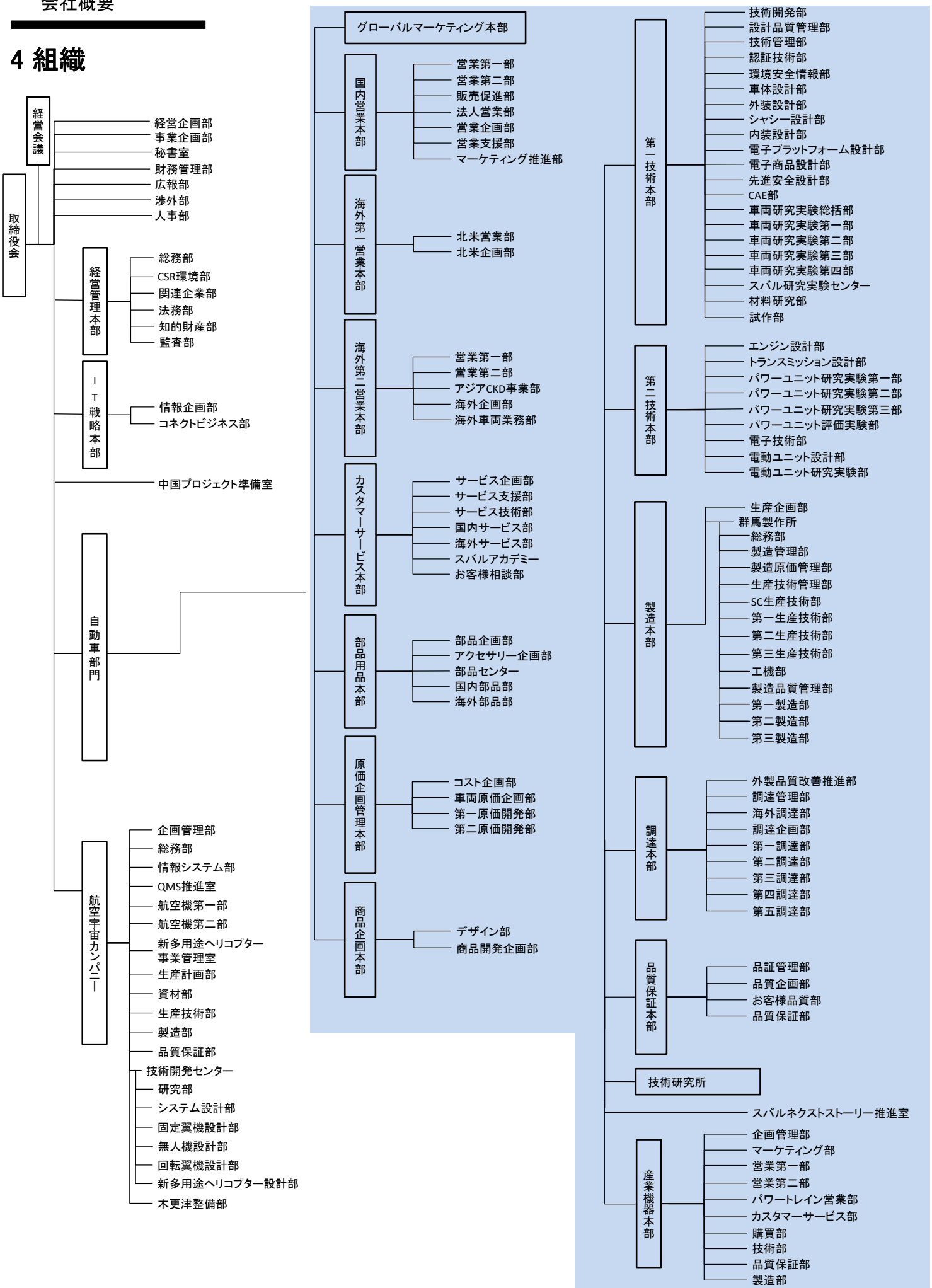
執行役員、監査役

（2017年6月23日時点）

役名	氏名	業務執行責任範囲
専務執行役員	中村 知美（なかむら ともみ）	北米事業（SOA、SIA、SCI、NASI）
専務執行役員	細谷 和男（ほそや かずお）	国内営業
専務執行役員	大河原 正喜（おおかわら まさき）	CIO（最高情報責任者）、IT戦略本部
常務執行役員	野飼 康伸（のがい やすのぶ）	原価企画管理本部 、事業企画部
常務執行役員	前田 聡（まえだ さとし）	第二技術本部
常務執行役員	大抜 哲雄（おおぬき てつお）	第一技術本部、技術研究所
常務執行役員	水間 克之（みずま かつゆき）	海外第二営業本部
常務執行役員	松木 秀明（まつき ひであき）	マーケティング担当専務執行役員付
常務執行役員	堤 ひろみ（つつみ ひろみ）	広報部、人事部
常務執行役員	戸塚 正一郎（とづか しょういちろう）	航空宇宙カンパニー
常務執行役員	為谷 利明（ためがい としあき）	製造本部
常務執行役員	臺 卓治（だい たくじ）	商品企画本部
常務執行役員	早田 文昭（はやた ふみあき）	経営企画部
執行役員	栗原 宏樹（くりはら ひろき）	カスタマーサービス本部、部品用品本部
執行役員	内田 雅之（うちだ まさゆき）	第一技術本部、第二技術本部
執行役員	大崎 篤（おおさき あつし）	品質保証本部
執行役員	小林 達朗（こばやし たつろう）	調達本部
執行役員	齋藤 勝雄（さいとう かつお）	経営管理本部
執行役員	濱中 康宏（はまなか やすひろ）	航空宇宙カンパニー
執行役員	荻野 英司（おぎの えいじ）	SIA
執行役員	永江 靖志（ながえ やすし）	海外第二営業本部、中国プロジェクト準備室
執行役員	庄司 仁也（しょうじ じんや）	グローバルマーケティング本部
常勤監査役	馬渕 晃（まぶち あきら）	
常勤監査役	灰本 周三（はいもと しゅうぞう）	
監査役	三田 慎一（みた しんいち）	
監査役	阿部 康行（あべ やすゆき）	

（2017年6月1日時点）

4 組織



5 国内主要事業所

（2017年3月末時点）

事業所名			所在地	土地面積（千㎡）	建物延面積（千㎡）	従業員数（人）	主な生産品目
本社			〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビススバルビル 代表TEL 03-6447-8000	4	14	563	–
	スバル総合研修センター （スバルアカデミー）		〒193-0941 東京都八王子市狭間1460 代表TEL 042-666-6541	10	13	41	–
	その他	部品センター、 納整センター、 モータープール、 大泉工場隣接地　等	群馬県太田市、大泉町	573 [14]	161	129	–
自動車部門	東京事業所		〒181-8577 東京都三鷹市大沢3-9-6 代表TEL 0422-33-7000	158	69	1,590	–
	群馬製作所	本工場	〒373-8555 群馬県太田市スバル町1-1 代表TEL 0276-26-2011	585 [15]	330	4,276	レヴォーグ、インプレッサ、 XV、WRX、BRZ
		矢島工場	〒373-8555 群馬県太田市庄屋町1-1 代表TEL 0276-48-2701	550	257	2,993	レガシィ、インプレッサ、XV、 フォレスター、 クロスオーバー7
		大泉工場	〒370-0531 群馬県邑楽郡大泉町いずみ1-1-1 代表TEL 0276-48-2881	304	229	2,505	自動車用発動機、 自動車用変速機
		太田北工場	〒373-0027 群馬県太田市金山町27-1	44	26	0	–
		スバル研究実験センター （佐野）	栃木県佐野市	1,081	25	170	–
		スバル研究実験センター （美深）	北海道中川郡美深町	3,614	0	0	–
	埼玉製作所		〒364-8511 埼玉県北本市朝日4-410 代表TEL 048-593-7755	143	92	334	発動機
航空宇宙カンパニー	宇都宮製作所		〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11 代表TEL 028-684-7777	567	223	1,790	航空機
	半田工場		〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-27 代表TEL 0569-29-4801	59	29	273	航空機
	半田西工場		〒475-0804 愛知県半田市上浜町102 代表TEL 0569-32-2501	42	14	44	航空機
小計　①				7,734	1,482	14,708	–

その他				
	飛行場跡地	群馬県太田市、大泉町	767	0
	宇都宮滑走路	栃木県宇都宮市	111	0
	福利厚生施設	–	219	99
	関係会社貸与分	愛知県半田市	45	7
	伊勢崎事業所	群馬県伊勢崎市	184	64
	旧エコテクノロジーカンパニー宇都宮工場	栃木県宇都宮市	12	2
小計　②			1,338	172

合計　①+②			
		9,072	1,654

1. [ ]は連結外から賃借している土地の面積を示す外数
2. 福利厚生施設には寮、社宅37カ所を含む
3. 従業員数は、役員、顧問、出向者を除く

6 主な関係会社の概況

（2017年7月1日時点）
（従業員数は2017年3月末時点）

国内

会社名 ホームページURL	設立	所在地	代表者	資本金 （百万円）	出資比率 （%）	従業員数 （人）	2016年度 売上高 （百万円）	事業内容
富士機械㈱ Fuji Machinery Co., Ltd. http://www.fuji-machinery.co.jp/	1950.7.18	〒371-0035 群馬県前橋市岩神町2-24-3 TEL 027-231-3111	新井 保弘	480	100.0	423	37,919	自動車部品・産業機械・ 農業用トランスミッションの製造、販売
㈱イチタン Ichitan Co., Ltd. http://www.ichitan.co.jp/	1951.2.2	〒373-0037 群馬県太田市新道町74 TEL 0276-31-2331	宮脇 基寿	480	100.0	219	18,679	自動車・産業機械用鍛造品の製造、販売
桐生工業㈱ KIRYU INDUSTRY Co., Ltd. http://www.kiryu-kougyo.co.jp/	1960.12.23	〒376-0011 群馬県桐生市相生町2-704 TEL 0277-53-1111	中野 幸夫	400	100.0	219	10,425	スバル特装車の製造、スバルエンジン、 スバル用板金補修用部品の製造、 トランスミッション等の再生
スバルテクニカインターナショナル㈱ Subaru Tecnica International Inc. http://www.sti.co.jp/	1988.4.2	〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-9-6 TEL 0422-33-7848	平川 良夫	250	100.0	94	4,147	モータースポーツ関連業務受託、 モータースポーツ用部品・グッズ販売、 技術開発、試験研究受託、自動車の整備
新スバル中販㈱ Subaru Used cars Sales & Marketing Co., Ltd. http://www.subaru-chuhan.jp/	1988.4.2	〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津2536-1 TEL 046-286-5311	前田 正弘	100	100.0	20	3,112	中古車政策関連業務、 SUAA関東運営事務局、用品販売
スバル用品㈱ Subaru Auto Accessories Ltd. http://www.e-saa.co.jp/	1987.3.9	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-854-1 TEL 048-652-5603	増田 年男	70	100.0	57	14,352	自動車の用品、部品及び 自動車整備用機械器具等の 販売、研究開発、技術供与、輸出入業
㈱スバルロジスティクス Subaru Logistics Co., Ltd. http://www.subaru-logistics.co.jp/	1986.3.27	〒373-0814 群馬県太田市朝日町558-1 TEL 0276-48-3131	鴨川 珠樹	96	100.0	330	21,999	自動車及びその部品の 梱包・出荷・陸送業、 倉庫業、整備業、保険代理店業
㈱東扇島物流センター H. B. C. Co., Ltd. http://subaru-hbc.jp/	1983.8.29	〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島28 TEL 044-277-3761	大野 圭	490	68.0	9	1,181	海外向け自動車の保管並びに出荷業務
スバルファイナンス㈱ Subaru Finance Co., Ltd. http://www.subaru-finance.co.jp/	1988.7.1	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 TEL 03-3445-2111	高橋 充	2,000	100.0	217	18,832	自動車リース並びにレンタル業、 クレジット業、金銭の貸付、 保険代理店業
SUBARUテクノ㈱ SUBARU TECHNO CORPORATION http://www.subaru-tec.co.jp/	1985.3.2	〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-9-6 TEL 0422-33-7596	務川 達彦	70	100.0	803	7,232	自動車・航空機・汎用エンジン・ 環境機器等のデザイン、設計、 研究実験及び各種調査、 技術資料作成 他
スバル・インテリジェント・サービス㈱ Subaru Intelligent Service Ltd. http://www.sisl.co.jp/	2005.3.1	〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-9-6 TEL 0422-33-7270	田代 邦彦	40	75.0	48	2,195	サービスマニュアル、 オーナーズマニュアル等 各種サービス技術資料の制作
輸送機工業㈱ Yusoki Kogyo K. K. http://www.yusoki.co.jp/	1950.7.15	〒475-8668 愛知県半田市上浜町102番地 TEL 0569-21-3311	谷川 栄治	100	100.0	139	2,176	航空機部品の製造、販売
富士航空整備㈱ Fuji Aircraft Maintenance Co., Ltd.	1988.10.31	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 TEL 03-3257-1533	小林 孝行	30	100.0	184	1,386	航空機・搭載用装備品の 点検、検査及び整備
㈱エフ・エー・エス Fuji Aerospace Corporation http://www.fhi-fas.co.jp/	1991.6.14	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11 TEL 028-645-9509	梅原 英資	30	100.0	129	1,260	航空機用部品の加工及び組立
富士エアロスペーステクノロジー㈱ Fuji Aerospace Technology Co., Ltd. http://www.fatec.jp/	1994.4.1	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11 TEL 028-659-7436	若井 洋	20	100.0	96	2,825	航空機、宇宙機器等の 設計・製図・翻訳・計算・解析試験及び ソフトウエア開発作業等請負他
富士重工産機販売㈱ Fuji Industrial Products Sales Co., Ltd. http://www.sankihanbai-fhi.co.jp/	2006.2.13	〒364-8511 埼玉県北本市朝日4-410 TEL 048-593-7955	岩下 昭夫	298	100.0	19	4,882	小型汎用エンジンの販売
富士重工ハウス㈱ Fuji Heavy Industries House Co., Ltd. http://www.fhc-house.co.jp/	1999.9.1	〒372-8508 群馬県伊勢崎市末広町100 TEL 0270-30-3147	寺内 一夫	200	87.2	37	2,270	仮設ハウスのレンタル 及びリース・販売業、仮設ハウスの 運搬組立、中古ハウスの売買
産業機器㈱ Industrial Products Co., Ltd.	1987.4.1	〒363-0002 埼玉県桶川市赤堀2-19 TEL 048-728-7088	島田 和人	20	100.0	60	1,041	小型汎用エンジン及びその部品の品質 対応、補用品販売等のカスタマーサポート
スバル興産㈱ Subaru Kohsan Co., Ltd. http://www.subaru-kohsan.co.jp/	1977.2.2	〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビススバルビル TEL 03-6447-8900	小坂井 康雄	675	100.0	64	6,231	不動産の売買・賃貸業、 貸ホール・貸会議室の運営・管理、 貸駐車場の運営管理及び賃貸、 旅行代理店業
㈱スバルITクリエーションズ SUBARU IT CREATIONS CORPORATION http://www.subaru-it-creations.co.jp/	1993.4.1	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-854-1 TEL 048-653-5752	小林 英俊	100	100.0	227	13,153	情報システムの開発・保守・運用・ コンサルティング 並びに情報機器の販売・リース
スバルリビングサービス㈱ Subaru Living Service Co., Ltd. http://www.subaru-sls.co.jp/	1988.4.2	〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-9-6 TEL 0422-33-6100	飯田 政巳	20	100.0	321	16,165	事務用消耗品・日用雑貨の販売、 不動産の売買、賃貸借、仲介、管理、 個人輸入代行等

※国内販売代理店一覧はP30に記載

海外

（2017年7月1日時点）
（従業員数は2017年3月末時点）

	名称(現地名称)	設立	所在地	責任者	出資比率（%）	従業員数（人）	事業内容
北米	スバル オブ アメリカ インク Subaru of America, Inc.	1990.9	Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08002, U.S.A.	中村 知美	100	1,161	SUBARU車及び部品の販売等
	スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク Subaru of Indiana Automotive, Inc.	1987.3	5500 State Road 38 East, Lafayette, IN 47905, U.S.A.	荻野 英司	100	5,447	SUBARU車等の製造、生産用部品の購入、スバル オブ アメリカ インク他への販売等
	ノースアメリカン スバル インク North American Subaru, Inc.	1985.9	C/O Subaru of America, Inc. Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08002, U.S.A.	角 信一郎	100	71	SUBARU車に対する北米市場内の技術調査、米国における自動車関連の官庁対応
	スバル リサーチ アンド ディベロップメント インク Subaru Research & Development, Inc.	1986.6	3995 Research Park Drive, Ann Arbor, MI 48108, U.S.A. 6431 Global Drive Cypress, CA 90630, U.S.A. 14382 Chambers Road, Tustin, CA 92780, U.S.A. 46718 Fremont Blvd, Fremont, CA 94538, U.S.A. C/O Subaru of Indiana Automotive, Inc. 5500 State Road 38 East, Lafayette, IN 47905, U.S.A. C/O Subaru of America,Inc. Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08002, U.S.A .	大抜 哲雄	100	69	米国自動車市場全般に関する技術情報の収集及びSUBARU車の研究・開発等
	スバル カナダ インク Subaru Canada, Inc.	1989.10	560 Suffolk Court Mississauga, Ontario, L5R 4J7, Canada	榎並 靖之	100	141	SUBARU車及び部品の販売等
欧州	スバル ヨーロッパ Subaru Europe N.V./S.A.	2002.3	Leuvensesteenweg 555 B/8,1930 Zaventem, Belgium	工藤 雅道	100	46	SUBARU車及び部品の販売等
	スバル イタリア Subaru Italia S.p.A.	1985.7	Largo Negrelli, 1, ALA (TN) I-38061, Italy	山田 隆志	100	41	SUBARU車及び部品の販売等
	スバル ベネルクス N.V. Subaru Benelux	1974.3	Leuvensesteenweg 555 B/1,1930 Zaventem, Belgium	工藤 雅道	100	42	SUBARU車及び部品の販売等
	スバル ヴィークル ディストリビューション Subaru Vehicle Distribution B.V.	2001.5	Merseyweg 40, 3197 KG Botlek, Netherlands	澤田 俊介	50	1	中部欧州地区特約店向け車両陸揚げ及び内陸輸送受託、PDI作業
アジア	斯巴鲁汽車(中国)有限公司 スバル オブ チャイナ Subaru of China Ltd.	2006.3	中華人民共和国 北京市朝陽区東三環北路8号 北京亮馬河大厦2座1501室	永江 靖志	60	213	SUBARU車及び部品の販売等
	斯巴鲁技術(北京)有限公司 Subaru Technology Beijing. Co., Ltd.	2013.6	中華人民共和国 北京市朝陽区東三環北路8号 北京亮馬河大厦1座802室	今村 寿人	100	34	中国におけるSUBARU車の品証、認証、研究・開発等
	スバル アジア SUBARU ASIA PTE.LTD.	1995.2	24 Raffles Place,#26-06B Clifford Centre,Singapore 048621	成川 淳司	100	7	アジアCKD工場のSUBARU車生産立ち上げ業務及び、産業機器製品、部品の東南アジア向け販売

連結子会社数 75社

持分法適用会社数 2社

7 従業員の状況

従業員数の推移(単独)

	従業員数(人)			平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
	男	女	合計		
2012年3月末	11,985	849	12,834	38.6	18.0
2013年3月末	12,451	861	13,312	38.9	17.3
2014年3月末	12,784	871	13,655	38.8	16.6
2015年3月末	13,511	901	14,412	38.4	16.0
2016年3月末	13,858	929	14,787	38.3	16.6
2017年3月末	14,229	988	15,217	38.3	15.7

役員、顧問を除く、出向者を含む。

労働組合

労働組合は、富士重工業労働組合を結成しており、組合員数14,503人(2017年6月末時点)、

富士重工業関連労働組合連合会を通じて全日本自動車産業労働組合総連合会に加盟しています。

※2017年10月1日付でSUBARU労働組合に変更予定。

定期採用の推移

単位:人/( )女性内数/短大は高専に含む

	2012年度				2013年度				2014年度			
	大	高専	高他	合計	大	高専	高他	合計	大	高専	高他	合計
事務	23 (2)	5 (5)	6 (5)	34 (12)	25 (2)	4 (4)	3 (3)	32 (9)	28 (3)	5 (5)	5 (3)	38 (11)
技術	97 (1)	30 (4)	15 (0)	142 (5)	134 (5)	27 (1)	20 (2)	181 (8)	137 (8)	28 (1)	23 (0)	188 (9)
技能	—	5 (1)	277 (22)	282 (23)	—	—	235 (13)	235 (13)	—	—	241 (21)	241 (21)
合計	120 (3)	40 (10)	298 (27)	458 (40)	159 (7)	31 (5)	258 (18)	448 (30)	165 (11)	33 (6)	269 (24)	467 (41)

	2015年度				2016年度				2017年度			
	大	高専	高他	合計	大	高専	高他	合計	大	高専	高他	合計
事務	30 (4)	3 (3)	20 (3)	53 (10)	25 (8)	3 (3)	11 (4)	39 (15)	32 (9)	—	13 (7)	45 (16)
技術	167 (8)	38 (0)	6 (1)	211 (9)	176 (20)	39 (1)	24 (1)	239 (22)	184 (16)	38 (0)	40 (3)	262 (19)
技能	—	—	255 (17)	255 (17)	—	—	270 (32)	270 (32)	—	—	267 (45)	267 (45)
合計	197 (12)	41 (3)	281 (21)	519 (36)	201 (28)	42 (4)	305 (37)	548 (69)	216 (25)	38 (0)	320 (55)	574 (80)

中途採用の推移

単位:人/( )女性内数

		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
正規	事務	4 (0)	8 (1)	7 (5)	18(0)	7(4)	17(9)
	技術	29 (0)	52 (0)	114 (3)	204(8)	82(5)	138(5)
	技能	86 (0)	375 (4)	133 (0)	339(2)	119(4)	114(4)
	合計	119 (0)	435 (5)	254 (8)	561(10)	208(13)	269(18)
嘱託	事務	22 (0)	10 (0)	—	3(0)	10(5)	20(3)
	技術	14 (0)	16 (0)	11 (0)	13(0)	42(5)	92(1)
	技能	55 (0)	31 (0)	46 (0)	27(0)	30(0)	39(1)
	合計	91 (0)	57 (0)	57 (0)	43(0)	82(10)	151(5)

8 施設

教育施設

（2017年7月1日時点）

教育対象	施設	設備	内容
SUBARUグループ従業員	スバル総合研修センター （スバルアカデミー）	大研修室 （80人） 2室 中研修室 （30人） 9室 小研修室 （16人） 2室 討議室 （12人） 8室 宿泊室 （162人） 133室	〈販売特約店従業員向け〉 経営販売部門教育 サービス管理・部品部門教育 サービス技術部門教育 〈SUBARU従業員向け〉 階層別教育 プロフェッショナルプログラム（職能別教育） 国際化教育 など

福利厚生施設

（2017年7月1日時点）

	本社	東京（事）	群馬（製）	埼玉（製）	宇都宮（製）	合計
社宅	287戸		201戸	30戸	152戸	670戸
独身寮	347室		2,622室	45室	542室	3,556室
体育施設	テニスコート	体育館 テニスコート	体育館 グランド プール（温水） テニスコート 野球部室内練習場	トレーニングルーム テニスコート	体育館 グランド テニスコート 弓道場	—
集会所（社員クラブ）	—	森山荘	雄飛荘	—	弥生荘	3
購買施設	1（売店）	1（売店）	6（売店）	1（売店）	2（売店）	—
事業所内診療施設	1	1	4	1	1	8
病院（健保組合直営）	—	—	太田記念病院※1	—	—	1

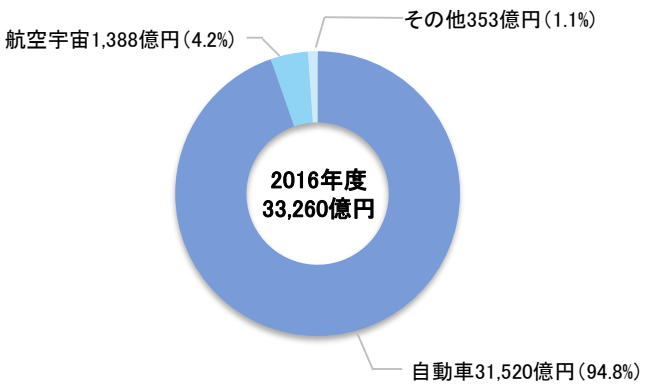
※1 太田記念病院…内科他 28科目、ベッド数 400

1 連結売上高・利益の推移

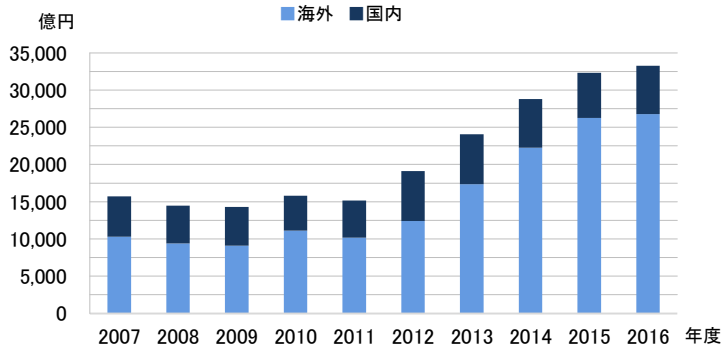
単位：(億円、%)

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高		15,723	14,458	14,287	15,806	15,171	19,130	24,081	28,779	32,323	**33,260**
	日本	5,440	5,075	5,208	4,673	4,985	6,718	6,721	6,529	6,054	**6,503**
	海外	10,284	9,383	9,079	11,132	10,186	12,411	17,361	22,250	26,269	**26,756**
事業別	自動車	14,212	13,163	12,945	14,522	13,891	17,794	22,466	26,990	30,394	**31,520**
事業別	航空宇宙	997	809	932	828	803	891	1,244	1,428	1,528	**1,388**
事業別	産業機器	407	349	239	301	336	301	298	290	326	–
事業別	その他	108	137	171	155	142	147	73	71	75	**353**
営業利益		457	−58	274	841	440	1,204	3,265	4,230	5,656	**4,108**
	利益率	2.9	–	1.9	5.3	2.9	6.3	13.6	14.7	17.5	**12.4**
事業別	自動車	371	−92	217	804	394	1,110	3,090	4,009	5,436	**3,977**
事業別	航空宇宙	44	16	48	23	29	68	141	189	182	**91**
事業別	産業機器	7	−16	−24	−1	5	6	6	8	1	
事業別	その他	25	31	26	15	10	16	21	19	29	**35**
事業別	消去・全社	9	3	7	1	2	4	6	6	8	**5**
経常利益		454	−46	224	822	373	1,006	3,144	3,936	5,770	**3,943**
	利益率	2.9	–	1.6	5.2	2.5	5.3	13.1	13.7	17.9	**11.9**
親会社株主に帰属する当期純利益		185	−699	−165	503	385	1,196	2,066	2,619	4,367	**2,824**
	利益率	1.2	–	–	3.2	2.5	6.3	8.6	9.1	13.5	**8.5**
為替レート		116円/US$ 161円/EUR	102円/US$ 147円/EUR	93円/US$ 132円/EUR	86円/US$ 114円/EUR	79円/US$ 108円/EUR	82円/US$ 106円/EUR	100円/US$ 133円/EUR	108円/US$ 140円/EUR	121円/US$ 133円/EUR	**108円/US$** **119円/EUR**
設備投資		563	580	561	431	543	702	685	1,107	1,357	**1,585**
減価償却費		655	651	571	498	537	559	549	648	650	**770**
試験研究費		520	428	372	429	481	491	601	835	1,024	**1,142**
有利子負債残高		3,045	3,817	3,676	3,306	3,410	3,072	2,697	2,112	1,700	**1,483**

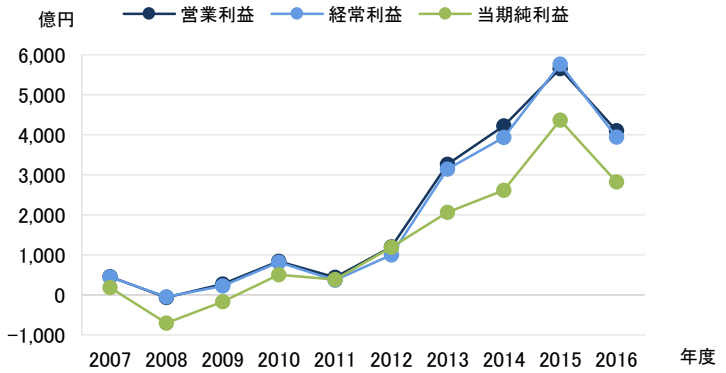
売上高比率



売上高の推移



利益の推移



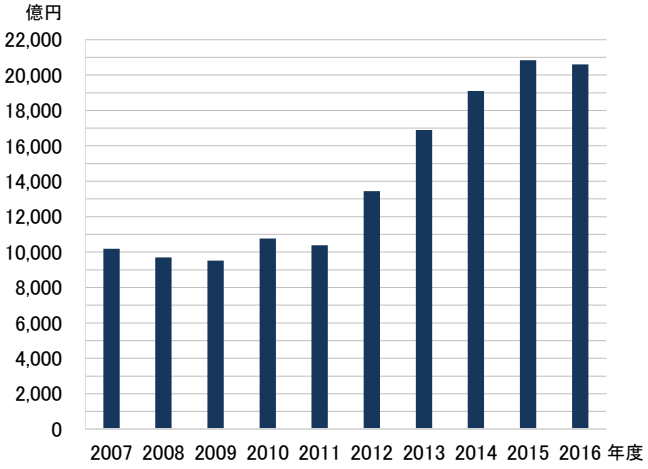
2 単独売上高・利益・配当金の推移

単位：百万円

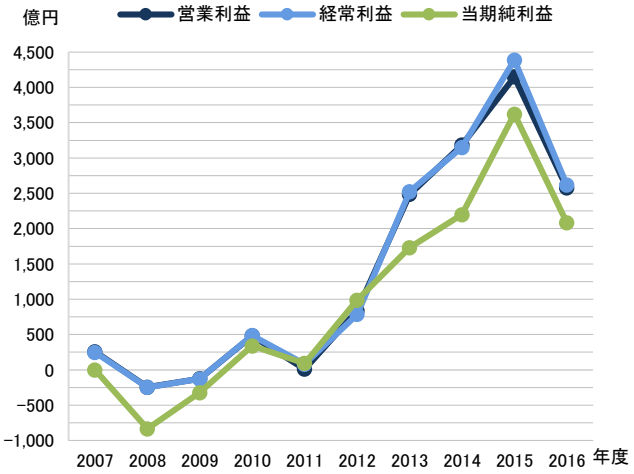
		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高		1,018,820	969,209	952,136	1,075,923	1,038,917	1,344,110	1,689,639	1,910,677	2,083,464	2,059,285
営業利益		25,830	△ 24,546	△ 12,522	48,160	1,051	83,760	248,428	318,390	414,755	257,510
経常利益		24,847	△ 24,840	△ 12,617	48,732	8,073	78,566	252,323	314,819	438,639	261,664
当期純利益		△ 58	△ 83,404	△ 32,315	33,877	9,277	98,648	173,111	219,684	361,941	208,252
1株当たり配当金（円）	上期	4.5	4.5	0.0	4.5	4.5	5.0	20.0	31.0	72.0	72.0
	下期	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	10.0	33.0	37.0	72.0	72.0
	通期	9.0	4.5	0.0	9.0	9.0	15.0	※53.0	68.0	144.0	144.0

※記念配当5.0円含む

売上高の推移



利益の推移



1 生産

生産実績の推移

単位：台

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
国内	軽自動車※	132,833	111,571	96,012	77,005	63,665	—	—	—	—	—
	登録車	356,837	362,395	356,734	381,783	404,340	583,078	649,911	707,669	714,879	720,519
	小計	489,670	473,966	452,746	458,788	468,005	583,078	649,911	707,669	714,879	720,519
海外	米国（SIA）	109,178	91,581	104,346	164,773	170,629	181,184	163,511	206,681	235,979	335,237
グローバル合計		598,848	565,547	557,092	623,561	638,634	764,262	813,422	914,350	950,858	1,055,756

※ 軽自動車には輸出用660cc超エンジン搭載車を含む

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
海外	マレーシア	—	—	—	—	—	1,266	6,354	4,277	3,933	10,299

※ マレーシアの生産台数は当社の海外生産台数には含みません

国内生産累計

（2017年3月末時点）
単位：台

登録車	ジャスティ	428,266	軽自動車※3	スバル360 ※4	392,016
	ドミンゴ	178,317		R-2	289,555
	スバル1000	80,327		レックス	1,902,811
	FF-1	156,341		ヴィヴィオ	747,045
	レオーネ	3,790,380		ステラ	204,935
	レガシィ	2,586,128		R2	134,005
	エクシーガ	66,498		R1	15,081
	インプレッサ（サーブ車込※1）	3,251,628		プレオ	586,676
	フォレスター	3,275,255		サンバー	3,695,677
	アルシオーネ	98,918		小計	7,967,801
	アルシオーネSVX	24,379			
	SUBARU BRZ・86（トヨタ向け）	254,918			
	WRX/STI※2	158,579			
	レヴォーグ	105,641			
	小計	14,455,575			
合計					22,423,376

※1 サーブ車累計10,346台
※2 2014年新型WRX/STI以降
※3 軽自動車は2012年3月に生産終了したことから、2012年3月時点となります
※4 スバル360にはスバル450　1,549台を含む

海外生産累計

（2017年3月末時点）
単位：台

登録車	レガシィ	1,153,080
	アウトバック	1,910,706
	インプレッサ	43,828
	バハ	33,001
	トライベッカ	113,868
	合計	3,254,483

国内四輪駆動車の生産

単位：台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
軽自動車※	57,189	51,430	48,040	42,860	49,206	—	—	—	—	—
登録車	335,014	341,715	340,042	368,266	383,210	478,409	578,541	661,108	676,462	674,798
合計	392,203	393,145	388,082	411,126	432,416	478,409	578,541	661,108	676,462	674,798

※ 軽自動車には輸出用660cc超エンジン搭載車を含む

国内エンジン生産

単位：台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
軽自動車	132,967	111,711	96,007	77,445	62,504	—	—	—	—	—
登録車	392,345	377,098	377,600	412,682	434,924	606,172	671,844	736,007	751,588	775,950
合計	525,312	488,809	473,607	490,127	497,428	606,172	671,844	736,007	751,588	775,950

国内トランスミッション生産

■CVT生産

単位:台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
軽自動車	83,441	127,879	183,542	74,016	2,365	—	—	—	—	—
登録車	0	2,186	150,650	202,510	281,914	485,844	675,149	823,304	860,693	975,439
合計	83,441	130,065	334,192	276,526	284,279	485,844	675,149	823,304	860,693	975,439

※スバル車CVT生産累計　5,414,663台

■AT生産

単位:台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
登録車	346,353	329,017	240,652	252,465	207,724	101,323	15,887	870	—	—

■MT生産

単位:台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
軽自動車	48,243	43,976	40,895	36,129	45,968	—	—	—	—	—
登録車	126,897	108,142	83,940	94,102	90,445	88,333	69,902	73,589	74,350	78,383
合　計	175,140	152,118	124,835	130,231	136,413	88,333	69,902	73,589	74,350	78,383

※軽自動車MT、及び登録車6MT、5MT・新6MT(2009年1月生産分～)は富士機械(株)にて生産

工場別完成車生産能力

単位:台

	2012年3月	2012年8月	2013年1月	2013年8月	2014年5月(本) 2014年2月(SIA)	2014年10月	2016年春	2017年春	2018年度 (計画)
本工場	100,000	150,000	165,000	180,000	200,000	202,000	207,000	213,000	213,000
矢島工場	422,000	422,000	422,000	422,000	422,000	427,000	429,000	431,000	483,000
SIA	170,000	170,000	170,000	170,000	200,000	200,000	218,000	424,000	436,000
合計	692,000	742,000	757,000	772,000	822,000	829,000	854,000	1,068,000	1,132,000
備考	本工場登録車 生産開始	本工場と 矢島工場間で ブリッジ生産 開始	本工場 能力増強	本工場 能力増強	本工場・SIA 能力増強		SIA 能力増強	本工場・ 矢島工場・SIA 能力増強	矢島工場・SIA 能力増強

上記生産能力は、下記条件を前提に計算
■本工場・矢島工場:2直操業、残業1H／日、休日出勤1日／月
■SIA :2直操業、残業2H(金曜日除く)

2 販売

販売台数の推移（連結・年度）

単位：台

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
国内	軽自動車	130,635	108,694	96,175	89,971	92,189	50,372	55,454	34,876	33,702	32,542
	登録車	78,055	70,095	75,097	68,134	80,153	112,750	126,147	127,876	111,586	126,393
	小計	208,690	178,789	171,272	158,105	172,342	163,122	181,601	162,752	145,288	158,935
海外	米国※	192,760	188,240	227,028	278,959	280,356	357,569	441,799	527,630	582,674	667,613
	カナダ	17,587	18,873	22,828	28,059	28,239	32,644	36,013	42,439	47,579	53,061
	欧州	63,373	56,764	37,340	48,244	39,075	46,382	31,756	35,730	41,778	40,915
	ロシア	22,622	20,711	1,563	11,320	15,860	14,719	15,314	11,559	5,723	5,338
	豪州	40,210	36,716	34,992	41,150	36,928	38,120	39,515	38,889	44,611	49,106
	中国	12,621	26,184	48,938	62,412	48,323	50,185	44,807	53,821	44,388	44,000
	その他	38,802	29,056	18,876	28,715	18,739	21,725	34,293	37,875	45,824	45,574
	小計	387,975	376,544	391,565	498,859	467,520	561,344	643,497	747,943	812,577	905,607
グローバル合計		596,665	555,333	562,837	656,964	639,862	724,466	825,098	910,695	957,865	1,064,542

※ 米国はハワイ含む

販売台数の推移(小売・暦年)

単位:台

国/地域名		車種	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
国内		軽自動車	140,990	121,693	97,996	97,558	84,895	69,645	54,849	42,991	38,268	33,790
		レガシィ	38,265	26,356	28,260	27,420	22,366	26,008	20,880	12,408	15,507	11,954
		インプレッサ	34,013	24,737	21,712	24,074	17,301	48,300	55,455	44,983	44,024	42,423
		フォレスター	12,550	23,143	12,939	14,098	14,514	12,472	35,166	25,921	20,459	28,544
		レヴォーグ	–	–	–	–	–	–	–	–	29,483	24,184
		その他	0	10,814	12,580	13,548	19,621	21,290	14,468	43,250	14,512	14,884
		小計	225,818	206,743	173,487	176,698	158,697	177,715	180,818	169,553	162,253	155,779
海外	米国	レガシィ	78,428	66,878	86,330	131,873	146,806	164,680	160,340	191,060	212,741	248,204
		インプレッサ	46,333	49,098	46,611	44,395	41,196	89,195	130,567	128,952	155,712	150,915
		フォレスター	44,530	60,748	77,781	85,080	76,196	76,347	123,591	159,953	175,192	178,593
		その他	17,917	10,975	5,930	2,472	2,791	6,219	10,185	33,728	39,030	37,420
		小計	187,208	187,699	216,652	263,820	266,989	336,441	424,683	513,693	582,675	615,132
	カナダ	レガシィ	4,919	4,089	4,682	9,670	10,187	9,736	8,142	11,612	13,250	14,256
		インプレッサ	7,480	8,555	9,126	8,658	7,664	13,217	16,026	14,437	16,741	17,179
		フォレスター	3,303	6,322	8,638	8,941	8,673	7,156	11,239	12,302	12,706	13,798
		その他	802	926	588	536	460	894	1,353	3,684	3,912	4,957
		小計	16,504	19,892	23,034	27,805	26,984	31,003	36,760	42,035	46,609	50,190
	欧州	レガシィ	13,149	14,889	12,313	16,246	11,796	9,193	8,070	6,446	11,317	8,537
		インプレッサ	15,732	12,881	10,853	10,144	7,673	18,030	14,731	12,685	10,682	12,020
		フォレスター	15,948	18,534	16,922	17,978	14,880	13,214	15,189	14,464	15,328	13,679
		その他	7,694	9,161	7,288	4,517	3,902	2,464	2,242	2,483	4,303	6,384
		小計	52,523	55,465	47,376	48,885	38,251	42,901	40,232	36,078	41,630	40,620
	ロシア	レガシィ	3,979	3,349	1,211	1,963	3,143	2,955	1,890	2,127	666	1,208
		インプレッサ	3,463	6,317	3,152	2,005	1,628	4,235	4,187	4,513	1,278	487
		フォレスター	6,768	11,132	4,664	3,898	7,604	7,055	10,795	10,902	5,040	4,025
		その他	1,593	1,208	643	721	160	128	132	205	30	8
		小計	15,803	22,006	9,670	8,587	12,535	14,373	17,004	17,747	7,014	5,728
	豪州	レガシィ	13,780	10,811	9,080	11,450	8,528	8,485	6,348	3,482	15,024	15,702
		インプレッサ	10,853	11,607	12,268	12,289	11,064	18,315	17,635	18,430	12,384	13,021
		フォレスター	12,554	14,423	13,753	14,644	13,142	11,533	13,649	13,670	12,034	13,407
		その他	1,258	1,651	1,405	1,642	1,277	1,856	2,568	4,920	4,158	4,888
		小計	38,445	38,492	36,506	40,025	34,011	40,189	40,200	40,502	43,600	47,018
	中国	レガシィ	2,769	2,317	3,202	20,223	26,146	11,461	10,134	8,086	15,438	12,333
		インプレッサ	271	927	514	206	164	8,193	12,974	12,001	7,495	5,466
		フォレスター	5,450	14,398	30,538	36,468	30,766	23,620	31,736	33,666	23,525	27,154
		その他	741	1,368	1,094	241	122	185	1,001	804	582	1,589
		小計	9,231	19,010	35,348	57,138	57,198	43,459	55,845	54,557	47,040	46,542
	海外その他	レガシィ	11,274	9,213	6,251	9,833	7,745	6,472	4,440	3,564	8,077	7,740
		インプレッサ	16,421	14,363	10,081	8,552	5,993	7,093	15,367	17,518	20,927	20,822
		フォレスター	7,159	10,014	7,381	8,577	7,745	6,094	12,980	15,359	15,594	19,210
		その他	1,580	2,200	1,545	1,243	927	918	1,200	2,535	2,922	3,499
		小計	36,434	35,790	25,258	28,205	22,410	20,577	33,987	38,976	47,520	51,271
	小計	レガシィ	128,298	111,546	123,069	201,258	214,351	212,982	199,364	226,377	276,513	307,980
		インプレッサ	100,553	103,748	92,605	86,249	75,382	158,278	211,487	208,536	225,219	219,910
		フォレスター	95,712	135,571	159,677	175,586	159,006	145,019	219,179	260,316	259,419	269,866
		その他	31,585	27,489	18,493	11,372	9,639	12,664	18,681	48,359	54,937	58,745
		海外合計	356,148	378,354	393,844	474,465	458,378	528,943	648,711	743,588	816,088	856,501
グローバル合計		軽自動車	140,990	121,693	97,996	97,558	84,895	69,645	54,849	42,991	38,268	33,790
		レガシィ	166,563	137,902	151,329	228,678	236,717	238,990	220,244	238,785	292,020	319,934
		インプレッサ	134,566	128,485	114,317	110,323	92,683	206,578	266,942	253,519	269,243	262,333
		フォレスター	108,262	158,714	172,616	189,684	173,520	157,491	254,345	286,237	279,878	298,410
		その他	31,585	38,303	31,073	24,920	29,260	33,954	33,149	91,609	98,932	97,813
		合計	581,966	585,097	567,331	651,163	617,075	706,658	829,529	913,141	978,341	1,012,280

※国内:～2010年、海外:～2013年のインプレッサにWRX/STIを含む

3 輸出

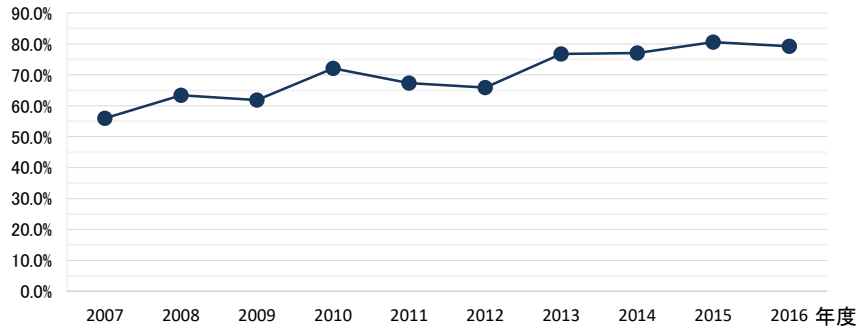
完成車と海外生産用部品の輸出

単位:台

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
完成車	米国	96,060	124,086	117,933	123,470	138,970	196,986	293,465	339,529	361,407	355,053
	欧州	76,238	72,735	41,586	61,851	56,693	60,646	47,550	47,933	47,873	48,153
	その他	101,405	103,592	120,201	145,376	119,336	126,391	158,179	158,147	167,203	167,537
	小計	273,703	300,413	279,720	330,697	314,999	384,023	499,194	545,609	576,483	570,743
	(内、軽自動車※1)	(579)	(111)	(96)	(70)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	輸出比率(%)	55.9	63.4	61.8	72.1	67.3	65.9	76.8	77.1	80.6	79.2
海外生産部品	米国(SIA)	110,363	77,871	113,605	163,469	175,256	183,729	159,266	218,565	237,060	344,518
	マレーシア	—	—	—	—	—	1,980	6,288	3,948	5,364	9,252
	小計	110,363	77,871	113,605	163,469	175,256	185,709	165,554	222,513	242,424	353,770
合計		384,066	378,284	393,325	494,166	490,255	569,732	664,748	768,122	818,907	924,513
(内、軽自動車※1)		(579)	(111)	(96)	(70)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

※1 軽自動車には輸出用660ccエンジン搭載車を含む

輸出比率



4 コア技術

SYMMETRICAL AWD

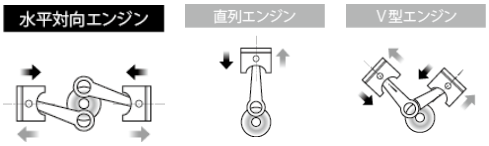
水平対向エンジンのもたらす低重心と、重量物を車体中心近くに集めることで実現する前後左右の優れた重量バランスが、AWDの能力を最大限に引き出し、さまざまな状況で卓越した走行性能を実現します。コーナリング時の、ステアリング操作に対するリニアな反応。高い直進安定性による、高速走行時の快適で安心できる走り。悪天候時での安定した挙動。日常走行から高速走行まで、ドライバーの信頼に足るメカニズムの「核」として、SUBARUはSYMMETRICAL AWDにこだわり続けます。



水平対向エンジン

SUBARUが理想のパワーユニットの一つとして提案し続けてきた、水平対向エンジン。ピストンが左右に水平に向き合う形で配置された水平対向エンジンは、ピストンの運動に伴って発生する慣性力を、対向するピストンが互いに打ち消し合う特性を持っています。このため、回転バランスに優れ、高回転域までなめらかに吹け上がるフィーリングを得ることができます。またエンジン全高が低く、軽量・コンパクトな特性により、車体の低重心化にも貢献。優れた重量バランスによって、意のままのコーナリングを可能にします。



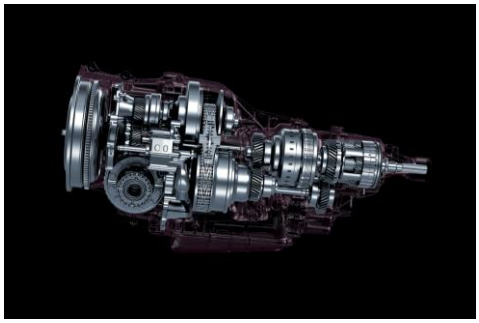


水平対向エンジンは、直列エンジンやV型エンジンと異なり、クランク軸を中心に水平かつ左右対称に配置されたピストンが互いの力を打ち消し合う。

リニアトロニック（CVT）

リニアトロニック(CVT)は量産AWD車世界初※のチェーン式縦置CVTです。CVT最大のメリットは、エンジンの効率の良い回転領域を積極的に使えることにあります。リニアトロニックは、チェーン方式の利点であるコンパクト設計と効率的な動力伝達により、自然な走行フィーリングに加え、環境性能と動力性能を両立させました。

※当社調べ



スバルグローバルプラットフォーム

2016年3月に発表し、同年10月発売の新型インプレッサ以降、順次採用となる新設計プラットフォーム「スバルグローバルプラットフォーム」では、将来にわたってSUBARUのクルマの走行性能と安全性能を飛躍的に向上させることを目指すと共に、統一したプラットフォーム設計構想に基づき、車種間で共通仕様にできる範囲を大幅に拡大します。

また、各国の自動車アセスメントでトップの評価を得ている衝突安全性能についても、全世界で最新の衝突形態に対応し、世界トップを堅持していきます。



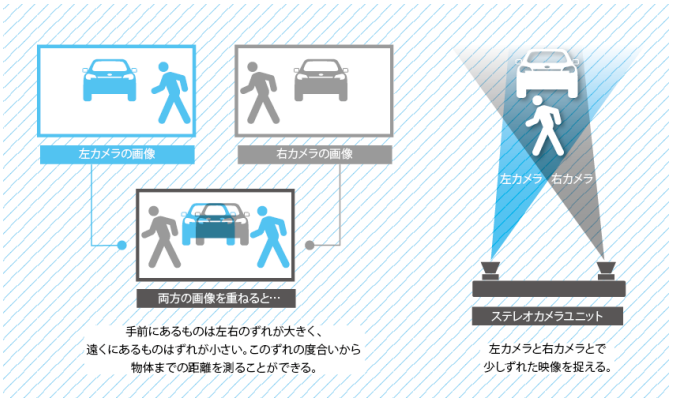
運転支援システム「アイサイト」

2008年から販売が開始されたアイサイトは、ステレオカメラだけで距離を測定し物体を認識し、車両を制御する運転支援システム。
ステレオカメラユニットには、人の「目」にあたる2つのCCDカメラと、「頭脳」にあたる3D画像処理エンジン/画像認識ソフトウェア/車両制御ソフトウェアを搭載したマイクロプロセッサーが内蔵されています。これらがスムーズに連携を図ることで、高度な運転支援を実現します。

人の目は、右目と左目で微妙に差のある映像を見ています。その差が大きければ近くにあるもの、小さければ遠くにあるもの、そうやって立体的に環境を把握しているのです。アイサイトは、この原理を利用したステレオカメラで、車両の前方にある物体との距離やその形状、移動速度を正確に認識するため、ドライバーが多くの情報を視覚から得ているのと同様に、クルマだけでなく歩行者、自転車、車線なども認識し、制御できるのが特長です。

ステレオカメラ

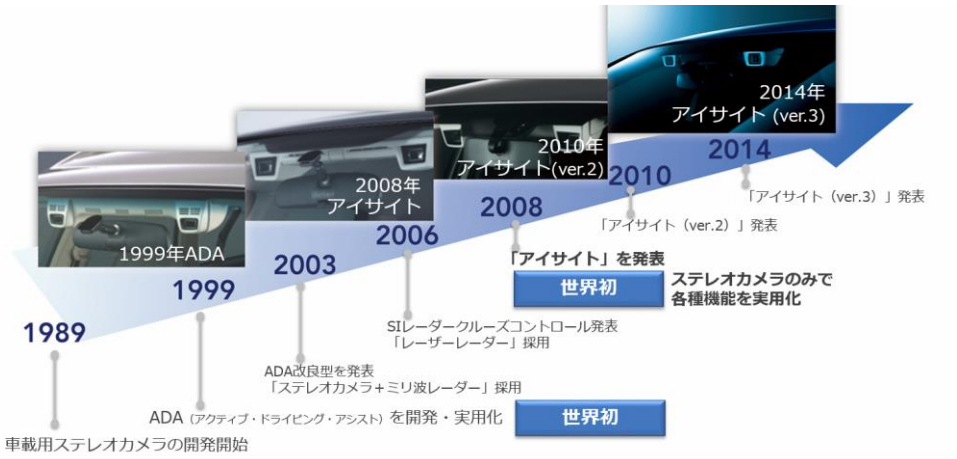




アイサイトの歴史

1989年に車載用ステレオカメラの開発を開始。
SUBARUが誇る独自のステレオカメラと、画像認識技術をベースに、乗る人の「安全と愉しさ」を目指してアイサイトに改良を重ねてきました。

2020年以降、さらに技術レベルを向上させ、
自動車線変更機能なども順次追加していくなどアイサイトはこれからも歴史を創りつづけます。



アイサイトのグローバル展開

アイサイトは現在SUBARUが生産しているほぼ全モデル※に対応しており、国内の装着率は9割を超えています。
また米国、欧州、豪州、中国など、世界各地に順次設定を拡大しています。

現在設定の無い中南米地域、ロシア、ASEAN地域、中東地域に関しても順次投入を予定しています。

※ WRX STI、SUBARU BRZを除く



アイサイトの評価〈第三者機関〉

アイサイト搭載車は予防安全評価を含め、
世界各国で高い安全性評価を獲得しています。



※2017年IIHS「TSP」認定モデル：2017年型レガシィ、アウトバック、フォレスター、インプレッサ、クロストレック、WRX（いずれもアイサイト装着車）
2017年IIHS「TSP+」認定モデル：2017年型レガシィ、アウトバック、フォレスター、インプレッサ
（いずれもアイサイト装着車、特定のヘッドライト装着車）
上記以外の評価内容については、各評価機関のホームページをご参照下さい。

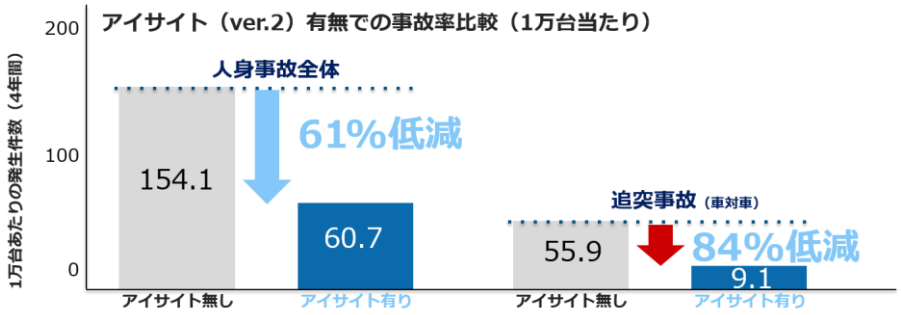
アイサイトの評価〈事故率低減効果〉

もしものときに頼りになるアイサイトの安全性は、事故発生率の調査結果でも評価されています。

アイサイト搭載車は非搭載車に比べて、
事故発生率が人身事故全体で約6割軽減。

なかでも追突事故（車対車）については非搭載車に比べて約8割軽減しています。

※交通事故総合分析センター（ITARDA）のデータをもとに、平成22～25年に発売されたアイサイト（Ver.2）の装備が可能な車両のうち、平成23年～26年の4年間に発生した事故データから独自算出。事故発生件数は2,234件。
※アイサイト有無での1万台当たりの人身事故件数（4年間）を算出。対象台数は、アイサイト（Ver.2）有が246,139台、無しが48,085台。



アイサイト・ツーリングアシストとは

アイサイトの「車線中央維持」の作動領域を従来の60km/h以上から0km/h以上へと拡大するとともに、先行車追従操舵機能を追加し、
「全車速追従機能付クルーズコントロール」と組み合わせた2017年発表の新システムです。
これにより渋滞中などの低車速域でもアクセル・ブレーキ・ハンドルを自動制御して運転を支援することで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減し、安全運転を支援します。



5 商品展開

登録車

（2017年7月1日時点）

	車種名（国内）	商品紹介	仕向地		
			国内	米国	その他の海外
	LEGACY B4	グランドツーリングカーとしての本質を追求することを 開発の不変のテーマとしたスポーツセダン。 1989年の発売以来、SUBARUのフラッグシップモデルとして好評を得ています。	○	○	○
	LEGACY OUTBACK	乗用車、SUV、ステーションワゴンといった、 異なるカテゴリーの車両の長所を融合した価値を提供する、クロスオーバーモデル。 さまざまなフィールドでの走行性能だけでなく、上質なデザインも 追求した最上級車種です。	○	○	○
	LEVORG	新世代のSUBARUを具現化したスポーツツアラー。 デザイン、パッケージング、走行性能、環境性能、安全性能といった あらゆる領域での価値を高め、高次元で融合しました。	○		○
	WRX S4 WRX STI	SUBARUのAWDスポーツパフォーマンスを象徴するモデル。 実用的でありながら、圧倒的なスポーツ性能を兼ね備えた 個性的なモデルとして、世界中のスポーツカーファンから支持を得てきました。	○	○	○
	IMPREZA	スタイリッシュな内外装、室内や荷室空間の広さ、 ロングツーリングもこなす走りの良さを提案するコンパクトカー。 5ドア、4ドアの2モデルを展開しています。	○	○	○
	SUBARU XV	「Fun Adventure」をコンセプトとしたクロスオーバーSUV。 燃費性能、走りの愉しさといった基本性能と、 スタイリッシュで存在感のあるエクステリアデザインを融合しました。	○	○	○
	FORESTER	SUBARU独自の高い走破性とシンメトリカルAWDによる優れた走行性能、 見晴らしの良いアイポイントによる使いやすさを両立したクロスオーバーSUV。 1台で世界5大陸10万kmを走破し、性能の高さを実証しました。	○	○	○
	SUBARU BRZ	FR（フロントエンジン・リヤドライブ）レイアウトのスポーツカー。 「Pure Handling Delight」をコンセプトに水平対向エンジンを より低い位置に搭載し、優れたハンドリング性能を実現。	○	○	○
	EXIGA CROSSOVER 7	ファッション性と本格SUVの要素を取り入れた内外装に、 SUBARUならではの全天候型AWDのパフォーマンス、 開放感にあふれる7人乗りのパッケージングを併せ持つ、 クロスオーバーモデルです。	○		
	JUSTY	「Big Pleasure Compact」をコンセプトとしたコンパクトカー。 運転しやすさと快適な室内を両立しました。 （ダイハツ工業からOEM供給　ダイハツ名：トール）	○		

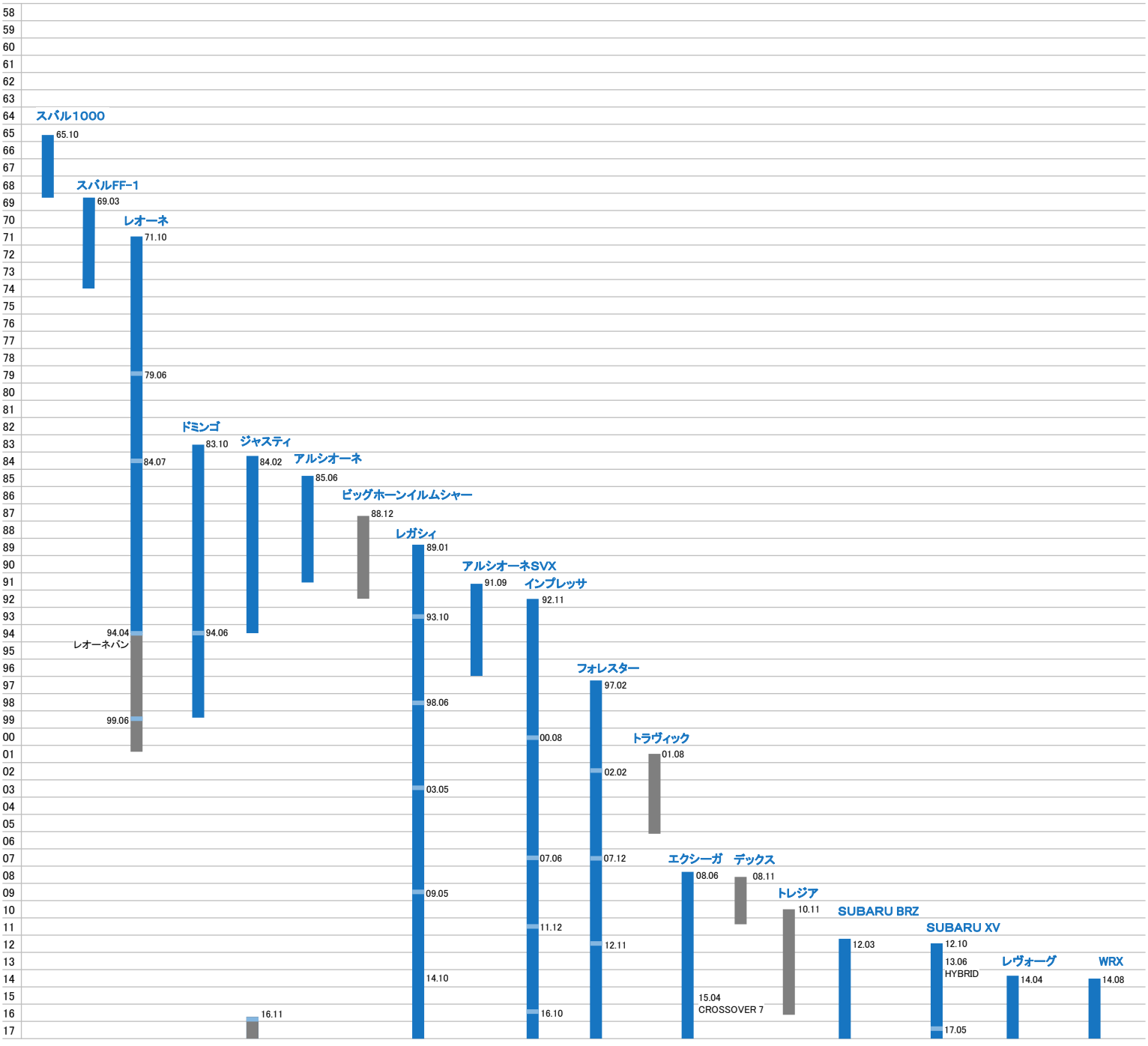
軽自動車 ※ダイハツ工業からOEM供給

（2017年7月1日時点）

	車種名	商品紹介	仕向地	
			国内	海外
	CHIFFON	SUBARU初のモアスペース系軽自動車で、クラストップレベルの室内空間を実現。 （ダイハツ名：タント）	○	
	STELLA	先進的で存在感や室内の広さが感じられる、 クラスを超えた上質さを特長とした軽乗用車。 （ダイハツ名：ムーヴ）	○	
	PLEO	「実用性・経済性に優れたジャストサイズ・スモール」をコンセプトに、 扱いやすさとシンプルで親しみやすいデザインを特長とした軽ワゴン。 （ダイハツ名：ミラ）	○	
	Dias Wagon	広々とした室内空間に、使い勝手の良い装備の充実を施すとともに、 パワフルかつスムーズな走行性能を実現した軽キャブオーバー型ワゴン。 （ダイハツ名：アトレーワゴン）	○	
	SAMBAR VAN	隅々まで無駄なく積める荷室、ゆとりに満ちたキャビン、 力強い走りを実現した軽キャブオーバー型バン。 （ダイハツ名：ハイゼット　カーゴ）	○	
	SAMBAR TRUCK	「高機能」と「高品質」を突きつめ、極限まで広げた室内空間、 磨き抜かれた防錆ボディ、優れた燃費性能を実現した軽トラック。 （ダイハツ名：ハイゼット　トラック）	○	

SUBARU車 国内車種展開の推移

（2017年7月1日時点）



登録車　OEM

基点は日本での発表月、線はフルモデルチェンジを表わす。



65.10
スバル1000



71.10
レオーネ



83.10
ドミンゴ



84.02
ジャスティ



85.06
アルシオーネ



89.01
レガシィ



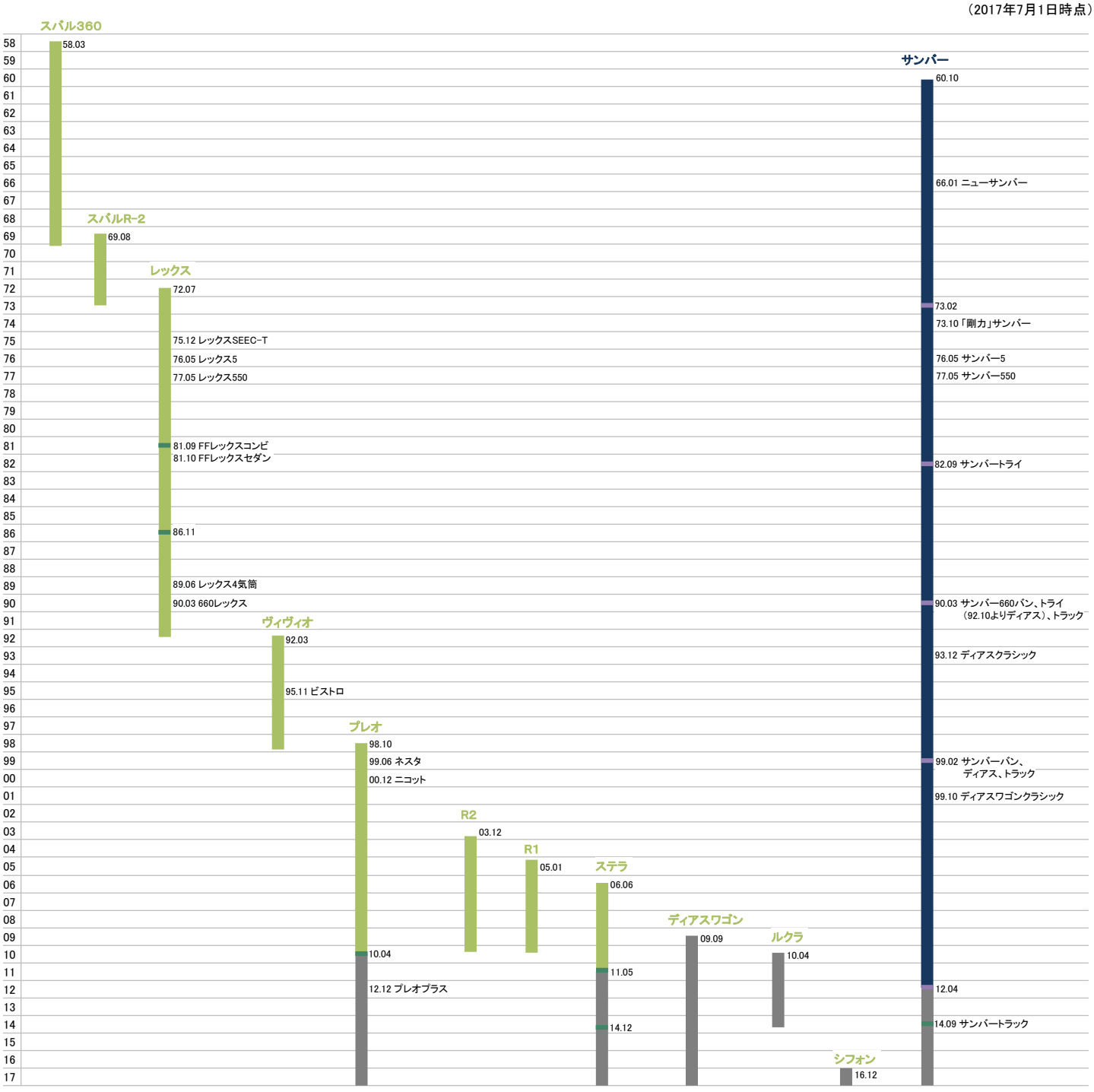
92.11
インプレッサ



97.02
フォレスター

SUBARU車 国内車種展開の推移

（2017年7月1日時点）



軽乗用車　軽貨物　OEM

基点は発表月、線はフルモデルチェンジを表わす



58.03
スバル360



69.08
スバルR-2



72.07
レックス



92.03
ヴィヴィオ



98.10
プレオ



03.12
R2



61.02
サンバー

6 国内販売代理店一覧

（2017年6月1日時点）

エリア	地区	統括会社	特約店名	連結子会社	所在地	電話番号	代表取締役社長	新車拠点数
北海道東北エリア（9）			釧路スバル自動車㈱		〒084-0904 北海道釧路市新富士町4-4-1	0154-51-0555	上原 博	1
			帯広スバル自動車㈱		〒080-0043 北海道帯広市西13条北1-1	0155-36-1251	石原 隆	1
			北海道スバル㈱	○	〒063-0062 北海道札幌市西区西町南14-1-1	011-668-2111	竹中 智雄	21
	東北地区	○	宮城スバル自動車㈱	○	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町1-5-26	022-235-9113	羽田 眞	11
			青森スバル自動車㈱	○	〒030-0921 青森県青森市原別6-10-1	017-736-3122	小林 研一	6
			岩手スバル自動車㈱	○	〒020-0125 岩手県盛岡市上堂3-7-10	019-641-1313	渡邉 勲	9
			秋田スバル自動車㈱	○	〒011-0901 秋田県秋田市寺内字三千刈315-1	018-823-7111	丸岡 利幸	7
			山形スバル㈱	○	〒990-2432 山形県山形市荒楯町2-1-88	023-624-1772	小林 浩一	6
			福島スバル自動車㈱	○	〒963-0115 福島県郡山市南一丁目70	024-945-1341	内田 良一	11
関東・甲信越・北陸エリア（12）	北信越地区	○	新潟スバル自動車㈱	○	〒950-1182 新潟県新潟市西区山田2307	025-266-9131	山野 達也	11
			スバル信州㈱	○	〒380-0928 長野県長野市若里4-14-28	026-226-7771	阿部 欣也	10
			北陸スバル自動車㈱	○	〒921-8539 石川県金沢市泉本町3-102	076-241-5121	太田 士郎	12
			南信スバル㈱		〒395-0003 長野県飯田市上郷別府1381-1	0265-21-1111	柴田 洋忠	1
			富士スバル㈱		〒371-0023 群馬県前橋市本町2-11-2	027-221-8111	宮田 亘	17
			栃木スバル自動車㈱		〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南1-1-17	028-658-2134	小平 和正	12
			茨城スバル自動車㈱		〒310-0851 茨城県水戸市千波町1984-1	029-241-1341	大槻 直樹	10
			埼玉スバル自動車㈱		〒338-8555 埼玉県さいたま市中央区上落合8-4-11	048-852-0131	吉澤 裕	16
			神奈川スバル㈱	○	〒222-8571 神奈川県横浜市港北区新横浜1-18-1	045-478-3611	飯山 勝久	26
			千葉スバル自動車㈱	○	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港176-2	043-243-2261	山本 本山	21
	東京・山梨		東京スバル㈱	○	〒113-8471 東京都文京区本郷2-13-11	03-3816-8111	下川 良一	32
			山梨スバル自動車㈱	○	〒400-0027 山梨県甲府市富士見1-4-30	055-253-3060	野島 栄二	3
中部・近畿エリア（11）			静岡スバル自動車㈱		〒424-8503 静岡県静岡市清水区長崎南町5-1	054-345-2131	石田 進一	12
	東海地区	○	名古屋スバル自動車㈱	○	〒462-0017 愛知県名古屋市北区落合町175	052-901-8611	福田 健	22
			岐阜スバル自動車㈱	○	〒500-8238 岐阜県岐阜市細畑1-7-15	058-245-4126	和田 哲也	9
			三重スバル自動車㈱	○	〒514-0817 三重県津市高茶屋小森町398	059-271-6100	三井 高春	7
			スバル東愛知販売㈱		〒440-8524 愛知県豊橋市下地町字境田95-1	0532-54-6485	西川 康夫	3
			福井南スバル自動車㈱		〒914-0125 福井県敦賀市若葉町2-1759	0770-25-5050	岡田 智	1
			奈良スバル自動車㈱		〒634-0837 奈良県橿原市曲川町6-19-17	0744-22-1331	高木 譲	5
	近畿地区	○	大阪スバル㈱	○	〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1-21-23	06-6908-3131	山藤 和典	26
			京都スバル自動車㈱	○	〒601-8357 京都府京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町5	075-671-1119	井上 哲夫	8
			滋賀スバル自動車㈱	○	〒525-0059 滋賀県草津市野路4-7-2	077-562-1951	十河 富美男	7
			兵庫スバル自動車㈱	○	〒657-0845 兵庫県神戸市灘区岩屋中町2-2-7	078-861-8331	須永 修司	18
中国・四国・九州エリア（12）	中国・四国地区	○	広島スバル㈱	○	〒733-0012 広島県広島市西区中広町1-3-17	082-291-4355	太田 宏	8
			山陰スバル㈱	○	〒689-3546 鳥取県米子市熊党330-3	0859-27-9030	森 延廣	7
			岡山スバル自動車㈱	○	〒701-0144 岡山県岡山市北区久米333-1	086-241-0815	間宮 睦夫	7
			山口スバル㈱	○	〒753-0871 山口県山口市朝田1049-1	083-922-2022	石原 亘	8
			東四国スバル㈱	○	〒760-0080 香川県高松市木太町2683	087-861-3600	藤田 博巳	8
			四国スバル㈱	○	〒791-8036 愛媛県松山市高岡町463-1	089-972-0191	森田 司	8
	九州地区	○	福岡スバル㈱	○	〒813-0044 福岡県福岡市東区千早4-14-12	092-710-0111	坂本 和人	18
			西九州スバル㈱	○	〒852-8053 長崎県長崎市葉山1-28-15	095-857-1511	木村 真	8
			熊本スバル自動車㈱	○	〒861-4106 熊本県熊本市南区南高江1-2-30	096-358-3783	松本 哲也	8
			大分スバル自動車㈱	○	〒870-1133 大分県大分市宮崎835-1	097-569-5396	赤嶺 英二	5
			南九州スバル㈱	○	〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田4-52-22	099-254-1192	黒谷 博	10
			沖縄スバル㈱	○	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-19-7	098-877-1100	嘉数 正秋	3
合計		6	44	33	—	—	—	460

7 海外市場の概況

地域別主要国及び特約店

2017年7月1日時点
店舗数は2016年12月末時点

地域	主要国	特約店名	本社所在地	店舗数	出資比率(%)
北米	アメリカ	Subaru of America, Inc.	Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08022 U.S.A.	630	100
	カナダ	Subaru Canada, Inc.	560 Suffolk Court Mississauga, Ontario, L5R 4J7, Canada	92	100
合計	計3ヵ国				
欧州	ドイツ	SUBARU DEUTSCHLAND GMBH	Mielestrasse 6, 61169 Friedberg, Germany	179	29
	スイス	SUBARU SCHWEIZ AG	Emil-Frey-Strasse CH-5745, SAFENWIL	157	0
	スウェーデン	Subaru Nordic AB	Box 21041, 200 21 MALMÖ, Starrvägen 15 232 61 ARLÖV	133	0
合計	計30ヵ国				
CIS・中東・アフリカ	イスラエル	JAPANAUTO	6 Magshimim, Petah tiqva,Israel	13	0
	ロシア	SUBARU MOTOR (RUSSIA) LLC	5/7, BLD, 2.3, SCHIPOK ST. MOSCOW, RUSSIA	47	33
	エジプト	ABOU GHALY MOTORS	El Obour Kilo 28 Cairo-Ismailia Rd.,Cairo,Arab Republic of Egypt	31	0
合計	計19ヵ国				
大洋州	オーストラリア	Subaru(Aust) Pty Ltd.	4 Burbank Place,Baulkham Hills NSW, 2153 Australia	115	8
	ニュージーランド	Subaru of New Zealand	46 Lady Ruby Drive,East Tamaki,Auckland 2013,New Zealand	15	0
合計	計8ヵ国				
中南米	チリ	Subaru Chile S.A.	Av. Las Condes 11774, Vitacura Santiago, Chile	24	0
	ペルー	Indumotora del Perù S.A.	Jr. Morro Solar N° 812, Lima 33, Perù	9	0
合計	計24ヵ国				
アジア	台湾	Subaru of Taiwan	No.38-2, Dongyuan Rd., Zhongli Dist. Taoyuan City	20	35
	フィリピン	Motor Image Philipinas, Inc.	187 EDSA Greenhills, San Juan City Metro Manila 1503, Philippines	17	0
	シンガポール	Motor Image Enterprises Pte Ltd	25 Leng Kee Road Singapore 159097	2	0
合計	計9ヵ国				
	中国	Subaru of China Ltd.	Beijing Landmark Tower Office, Building 2-1501, Beijing 100004, China	226	60
合計	計2ヵ国				

1 航空機機体生産の推移

防衛省向け

単位：機

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
小型機	T-5初等練習機	1	4	4	5	4	5	4	3	—	—
	T-7初等練習機	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘリコプター	AH-64D戦闘ヘリコプター	2	2	1	1	—	—	—	1	1	1
	UH-1J多用途ヘリコプター	3	4	5	6	5	—	—	—	—	—
無人機	航空機模擬標的	26	12	15	15	15	18	6	17	5	—
	遠隔操縦観測システム	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	無人偵察機システム	—	—	2	2	4	1	1	1	—	—
分担生産	チャッカーⅢ小型標的機	18	35	16	19	11	10	14	8	—	14
	U-125A救難捜索機（装備品取り付け、納入前整備）	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	F-2支援戦闘機（主翼※、尾翼※等）	4	5	5	1	—	—	—	—	—	—
	OH-1小型観測ヘリコプター（尾翼※、キャノピー等）	2	2	2	2	3	3	—	—	—	—
	次期固定翼哨戒機（XP-1）・輸送機（XC-2）（主翼、垂直尾翼※の開発）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	P-1固定翼哨戒機（主翼、垂直尾翼※等）	—	—	—	—	3	1	3	1	1	3
	C-2輸送機（主翼、垂直尾翼※等）	—	—	—	—	—	—	—	2	1	3
その他	航空機用シミュレータ等	1	1	1	1	—	1	—	1	—	—

民間向け

単位：機

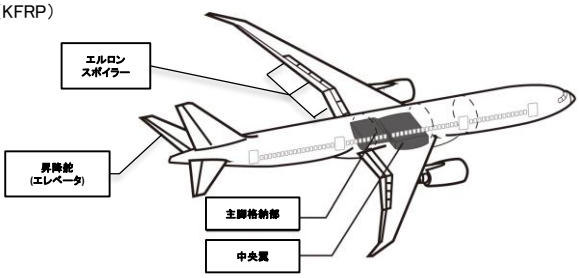
			2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
分担生産	国際協力	ボーイング787（中央翼※）	—	6	16	25	26	54	86	122	120	128
		ボーイング777（中央翼、主脚扉※、翼胴フェアリング※）	82	68	82	63	82	91	99	99	102	90
		ボーイング737（エレベータ※）	351	282	375	372	393	423	447	495	504	504
		ボーイング767（翼胴フェアリング※、主脚扉※）	12	10	12	15	25	25	13	15	18	25
		ボーイング747（エルロン※、スポイラー）	18	12	—	—	—	—	—	—	—	—
		A380（垂直尾翼構造※）	12	12	11	27	30	26	28	27	29	18
		H4000（主翼構造およびシステム開発）	14	27	2	6	14	—	—	—	—	—

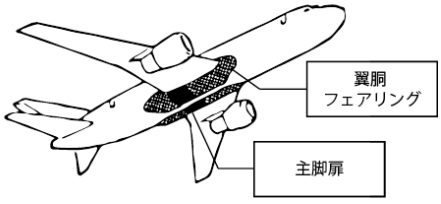
（　）内生産部分

※複合材料活用製品

複合材料…2種以上の素材を人為的に組み合わせて、もとの素材よりも優れた性質あるいは全く新しい性質を与える材料

1. ガラス繊維強化複合材料（GFRP）
2. 炭素（カーボン）繊維強化複合材料（CFRP）
3. アラミド繊維（ケブラー）強化複合材料（KFRP）





2 防衛事業　主要製品

ヘリコプター

陸上自衛隊の航空戦力の要である戦闘ヘリコプター「AH-64D」、対戦車ヘリコプター「AH-1S」、戦術空中輸送や災害救助に使用される多用途ヘリコプター「UH-1J」の製造・整備・修理・技術サポートを行っています。
また「UH-1J」の後継機となる新多用途ヘリコプター「UH-X」の開発を行っています。


戦闘ヘリコプター「AH-64D」


多用途ヘリコプター「UH-1J」

固定翼機

海上自衛隊の初級練習機「T-5」及び、航空自衛隊の初等練習機「T-7」を開発し、製造・整備・修理・技術サポートを通じ、パイロット育成の一翼を担っています。
航空自衛隊の飛行点検機「U-125」、救難捜索機「U-125A」についても、整備・修理・技術サポートを実施しています。


練習機「T-5」


救難捜索機「U-125A」

無人機

標的機からスタートした無人機事業は、半世紀にわたり15機種以上の開発実績を誇ります。現在、航空自衛隊における将来の無人機運用を研究する「無人機研究システム」、及び陸上自衛隊の偵察任務を担う「無人偵察機システム」等の、開発・製造・整備・修理・技術サポート及び運用支援を行っています。


無人偵察機システム

その他の機材

各種機体運用の知見を活かし、操縦等の訓練に使用するシミュレータを開発・製造しています。


U-125Aミッションシミュレータ


T-5フライトシミュレータ

3 民間事業　主要製品

旅客機

ボーイング767、777、787などの国際共同開発に参画してきた実績をもとに、777Xでも主要部位である中央翼をはじめ、翼胴フェアリング、主脚扉の開発・製造を担当しています。
小型旅客機ボーイング737から、大型旅客機エアバスA380までの幅広い旅客機の製造に携わり、世界の航空輸送を支えています。



BOEING 777X

ヘリコプター

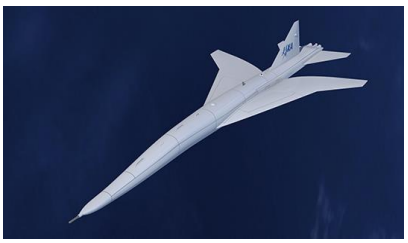
米国ベル・ヘリコプターテキストロン社とのアライアンスを生かし、最新の412EPI発展型機を国際共同開発しています。



412EPI発展型機

無人機・実験機

最大100kgのペイロードを搭載可能な民間向け大型無人ヘリコプター、「RPH2」を自主開発しました。
JAXA（宇宙航空研究開発機構）の研究用無人機「HSFD」、「D-SEND＃2」等の設計、開発、製造、技術サポート及び試験支援を実施しています。



D-SEND＃2



無人ヘリコプター「 RPH2 」

修理改造事業

海上保安庁や警察、消防などで使用されている各種ヘリコプターの製造・整備・修理・改造及び技術サポートを行っています。



海上保安庁ヘリコプター



消防・防災ヘリコプター

産業機器カンパニーについて

産業機器カンパニーは2016年9月に自動車部門に統合しました。
2017年9月末にて汎用エンジン・発電機等の生産・販売終了を決定しました。（一部の車載用エンジン等を除く）

単体エンジン販売台数の推移

仕向別

単位：台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
国内向け	231,703	189,090	147,332	175,376	240,051	177,887	207,389	200,867	144,687	142,930
海外向け	904,432	794,386	577,661	795,415	702,627	579,705	574,565	606,360	627,994	615,346
合計	1,136,135	983,476	724,993	970,791	942,678	757,592	781,954	807,227	772,681	758,276

種類別

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
ガソリン	1,121,144	969,713	718,838	961,199	930,267	747,973	771,950	796,797	764,661	751,043
ディーゼル	14,991	13,763	6,155	9,592	12,411	9,619	10,004	10,430	8,020	7,233

エンジン生産台数の推移（搭載用を含む）

単位：台

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
国内生産	984,291	644,501	433,489	547,526	576,249	454,131	438,597	421,269	415,998	341,531
海外生産	237,382	365,309	354,345	570,107	545,264	414,321	458,119	483,808	465,640	488,396
合計	1,221,673	1,009,810	787,834	1,117,633	1,121,513	868,452	869,716	905,077	881,638	829,927

※2006年までは富士ロビン（現マキタ）分を含んだ合計値

内訳

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
国内向け	314,786	216,175	155,135	196,535	330,852	240,374	368,413	347,938	189,745	198,055
海外向け	906,887	793,635	632,699	921,098	790,661	628,078	528,303	557,139	691,893	631,872
ガソリン	1,199,496	986,609	779,726	1,103,166	1,104,458	856,209	883,142	890,462	870,205	819,720
ディーゼル	22,177	23,201	8,108	14,467	17,055	12,243	13,574	14,615	11,433	10,207

商品展開（2016年7月1日時点）

汎用エンジン

種類

- ガソリン
  - 空冷2サイクル ―― （40cc）EC04
  - 空冷4サイクル ―― （25cc ～ 720cc）ER12, EH025 ～ EH72, EX13 ～ EX40, EA190V/EA175V, EK13 ～ EK30, EY15 ～ EY28
- ディーゼル ―― 空冷4サイクル ―― （230cc ～ 462cc）DY23 ～ DY42
- ケロシン（灯油） ―― 空冷4サイクル ―― （143cc ～ 273cc）EY15DK ～ EY28DK

用途

農・林・漁業機械		トラクター、バインダー（結束機）、除草機、ハーベスタ（刈取り機）、田植機、耕耘機、運搬車、刈払機、管理機、動力噴霧機、揚水ポンプ、木材キャリアー
土木・建設・産業機械	大型	コンプレッサー
	小型	ミニバックホー、振動ローラー、コンパクター、ランマー、コンクリートカッター、 コンクリートバイブレーター、溶接機
	産業機械	エンジンジェネレーター、ポータブルコンプレッサー、構内運搬作業車、高圧洗浄機、 トラッシュポンプ、スイーパー、エアコンプレッサー、投光機
レジャーその他機械		スノーモービル、バギーカー、ゴルフカー、ゴーカート、ポケットバイク、芝刈り機、除雪機

完成品（エンジン搭載機器）

- エンジンジェネレーター（900W～14kW）
- エンジンポンプ（口径1インチ～4インチ）
- スノーモービル
- 投光機


エンジン


スノーモービル


ポンプ


発電機

エコテクノロジーカンパニーについて

エコテクノロジーカンパニーは2013年3月に廃止となりました。

※ スバル風力発電事業については、2012年7月1日をもって株式会社日立製作所へ事業譲渡しました。

※ 塵芥収集車事業については、2013年1月1日をもって新明和工業株式会社へ事業譲渡しました。

主要製品生産の推移

		2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
フジマイティー		1,896	1,383	1,480	1,551	1,641	1,433	1,162	1,022	1,124	812
パワーローダ		95	52	43	52	41	33	20	22	23	13
スイーパ		64	72	37	9	2	1	—	—	—	—
モートラック		235	186	210	184	242	187	85	144	138	107
風力発電	40kW	4	0	2	4	1	—	1	—	—	—
	100kW	0	0	3	—	—	—	—	—	—	—
	2MW	—	—	—	—	1	3	31	21	7	4

商品展開

フジマイティー	不燃物収集車、一般ゴミ収集車、粗大ゴミ収集車、電動式塵芥収集車、再資源回収車、大型中継車、 塵芥収集車専用ボディ計量システム
モートラック	バッテリー式、ガソリン式構内運搬車
特装車	脱着ボディ車（パワーローダ）、各種廃棄物コンテナ
清掃機器	ビル清掃ロボットシステム、ゴミ計量システム、オゾン脱臭洗浄装置
搬送機器	連結式搬送ロボットシステム

富士重工株式会社から株式会社SUBARUへ

企…企業関連　産…産業機器カンパニー
自…自動車部門　エ…エコテクノロジーカンパニー
航…航空宇宙カンパニー

年月	主要事項
2008年	
（平成20年）	
2月	航：ボーイング777フレイター初号機用の中央翼を出荷
	自：水平対向ディーゼルエンジンをレガシィとアウトバックに搭載し、欧州市場へ導入
3月	企：スバル生誕50周年
	航：海上自衛隊初等練習機T-5の製造を再開
4月	企：トヨタ・ダイハツ・富士重、開発・生産における新たな協力関係に合意
	自：インプレッサが「自動車アセスメントグランプリ」を受賞
5月	自：先進運転支援システム「アイサイト」を搭載したレガシィシリーズを発売
6月	自：新型車「スバルEXIGA」を発売
	自：「スバル プラグイン ステラ コンセプト」を開発
10月	自：インプレッサ4ドアモデル「アネシス」を発売
11月	自：「スバル デックス」を国内で発売
12月	自：世界ラリー選手権ワークス活動を終了
2009年	
（平成21年）	
1月	自：「水平対向ディーゼルエンジン」が第6回新機械振興賞「機械振興協会会長賞」を受賞
	産：エンジン式刈払機「スバル ロビンカッター」を新発売
	自：国内のスバル販売会社を統括会社体制へ完全移行
5月	自：新型スバル レガシィ シリーズを発売
6月	自：「スバル プラグイン ステラ」を発表
9月	自：スバル全モデルが米国IIHSの2009年安全評価で最高評価である「トップセイフティピック」を獲得
	自：ディアスワゴン（Dias Wagon）を発売
11月	自：スバル全モデルが米国IIHSの最新2010年安全評価で最高評価であるトップセイフティピックを獲得
	エ：自律式走行ロボットの走行プログラム自動生成システムを開発
	エ：農業用ロボットシステムを開発、サービスロボット市場を拡大へ
	エ：住友商事と富士重工業、オフィスエリア清掃ロボットシステムを共同開発
2010年	
（平成22年）	
3月	企：（株）イチタンを100%子会社化
	エ：サービスエリア清掃ロボットシステムを共同開発
4月	エ：電動式塵芥収集車「フジマイティーエレクトラ」を新発売
	自：新型軽自動車 スバル ルクラを発売
	自：プレオシリーズをフルモデルチェンジ
	自：レガシィが「自動車アセスメントグランプリ'09/'10」を受賞
	自：運転支援範囲を大幅に拡大した先進運転支援システム「新型アイサイト（Ver.2）」を開発
6月	自：「インプレッサXV」を発売
7月	エ：SUBARU80/2.0 風力発電システムが国内初の港湾外洋上風力発電施設で本格稼動開始
9月	自：新世代ボクサーエンジンを開発
10月	自：先進運転支援システム「アイサイト(ver.2)」が日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤーを受賞
	自：群馬製作所開設50周年
11月	自：新型コンパクトカー スバル トレジアを発売
	産：スバル汎用エンジン「EA－Vシリーズ」を新開発
	産：ランマー専用エンジン「ER12」を新開発
12月	自：WRX STI 4ドア A-Lineが「オートカラーアウォード2011 インテリア部門賞」を受賞
	自：インプレッサ「WRX STI tS」・「WRX STI spec C」を 発売
	自：スバル全モデルが米国IIHSの最新2011年安全評価で最高評価である「トップセイフティピック」を獲得

年月	主要事項
2011年	
（平成23年）	
1月	エ：SUBARU80/2.0 風力発電システム11基が御前崎風力発電所で本格稼働開始
3月	自：レガシィ「アイサイト（ver.2）」搭載モデルが販売台数1万台を達成
4月	自：国内スバル特約店の全店が「エコアクション21」の認証取得
5月	自：新型軽乗用車 スバル ステラを発売
6月	航：富士重工業と東大、機体破損後の航空機の自動飛行実験に成功
	企：森郁夫代表取締役社長が代表取締役会長、吉永泰之取締役兼専務執行役員が代表取締役社長に就任
7月	企：2011-2015中期経営計画“Motion-V”を策定
	自：スバル車 米国生産累計台数 200万台を達成
9月	自：北米工場で受託生産車 新型カムリのラインオフ式を実施
11月	自：新型インプレッサを発表
12月	航：ボーイング777中央翼の生産累計機数1,000機を達成
	自：レガシィ アウトバックが「オートカラーアウォード2012　インテリア部門賞」を受賞
	自：スバル全モデルが米国IIHSの安全評価で最高評価である「トップセイフティピック」を獲得
	自：自動車板金補修用部品生産を桐生工業に移管
2012年	
（平成24年）	
1月	産：スバル汎用エンジン「EX シリーズ」 累計生産台数300万台を達成
2月	自：新型車「SUBARU BRZ」を発表
	自：AWD 発売40周年
	自：群馬製作所大泉工場 開設30周年
3月	自：軽自動車の生産を終了～軽自動車生産工場は登録車生産工場へ転換
	自：SUBARU BRZ／TOYOTA 86のラインオフ式を実施
	自：米国生産拠点(SIA) 25周年
4月	自：「ぶつからない車を目指した先進運転支援システムの開発」が文部科学大臣科学技術賞受賞
	航：「ボーイング・サプライヤー・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞
6月	自：SIA 米国の自動車生産工場として初のISO 50001認証を取得
7月	エ：風力発電事業を株式会社日立製作所へ事業譲渡
	航：ボーイング787向け 中央翼組み立てラインを増設
9月	航：ボーイング787の中央翼生産累計機数100機を達成
	自：新型 スバル インプレッサ XV を発表
10月	自：インプレッサ G4＆SPORTとインプレッサ XVがグッドデザイン賞を受賞
	自：新型スバル XV が米国IIHS の安全評価で 最高評価である「トップセイフティピック」を獲得
11月	自：新型スバル フォレスターを発表
	産：産業機器製品の中国販売会社 開所式を実施
	自：インプレッサが「新・安全性能総合評価ファイブスター賞」を受賞
	自：米国累計販売台数が600万台を達成
	自：「SUBARU BRZ」が 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー 実行委員会特別賞を受賞
	自：新型スバル フォレスターが欧州の安全性能総合評価で最高評価の5つ星を獲得
12月	自：新型軽乗用車 スバル プレオ プラスを発表
	産：汎用エンジン 累計生産台数3,000万台を達成
	産：農機用スバル汎用エンジン「EK30」を新開発
	自：インプレッサ XVが「オートカラーアウォード2013」でグランプリを初受賞
	自：マレーシアでSUBARU XVの KD生産をスタート
	エ：塵芥収集車「フジマイティー」の生産を終了
	自：全モデルが米国IIHSの2013年安全評価で最高評価である「トップセイフティピック」を獲得
2013年	
（平成25年）	
1月	自：アイサイトが日立オートモティブシステムズ 第10回新機械振興賞「経済産業大臣賞」を受賞
	産：国内向けスバルポンプ「SWPシリーズ」を新発売
	エ：塵芥収集車事業を新明和工業株式会社へ事業譲渡
3月	自：豪州累計販売台数が70万台を達成
	自：SUBARU XV HYBRIDを発表（ニューヨーク国際自動車ショー） ※国内発売は6月
	エ：エコテクノロジーカンパニー廃止
4月	自：先進運転支援システム「アイサイト（ver.2）」搭載モデルが国内販売台数10万台を達成
5月	自：レガシィが2012年度「新・安全性能総合評価ファイブスター賞」を受賞
	自：フォレスターが米国IIHSの2013年安全評価で最高評価である「トップセイフティピック+」を獲得
7月	企：創立60周年
9月	企：中国でのスバル車販売強化体制を構築
	自：レガシィ、アウトバックが米国IIHSの衝突回避性能評価で最高評価である「superior」を獲得
10月	自：次世代「アイサイト」を発表
11月	自：新型「WRX」を発表（LAオートショー）
12月	自：基準が強化された米国IIHSの2014年安全評価で「トップセイフティピック+」を3車種が獲得

年月	主要事項
2014年 （平成26年）	
1月	企：スバル車 国内生産台数2,000万台を達成
	自：新型「WRX STI」を発表（北米国際自動車ショー）
2月	自：新型「レガシィ」を発表（シカゴオートショー）
4月	産：スバルインバーター発機「SGi18」を新発売
	自：新型「レヴォーグ」を発表（2013年10月東京モーターショー）※発売は6月
	自：新型「アウトバック」を発表（北米国際自動車ショー）
5月	企：新中期経営ビジョン「際立とう2020（Prominence 2020）」を策定
	自：新型WRX、WRX STIが米国IIHSの2014年安全評価で「トップセイフティピック（TSP）」を受賞
6月	航：次世代大型旅客機ボーイング777Xの開発・量産参画へ覚書
7月	自：BRZが米国IIHSの2014年安全評価で「トップセイフティピック（TSP）」を受賞
8月	企：本社、渋谷区恵比寿に移転
	自：新型レガシィ、アウトバックが米国IIHSの2014年安全評価で最高評価「トップセイフティピック（TSP）＋」を獲得
	自：新型「WRX S4」「WRX STI」を発表
9月	自：新型「サンバートラック」を発表
	企：スバルビジターセンター見学者数 100万人達成
10月	自：レヴォーグが2014年度グッドデザイン賞を受賞
	自：「アイサイト」を搭載する3車種がJNCAP「先進安全車プラス（ASV+）」に選定
11月	自：運転支援システム「アイサイト」を欧州市場へ初展開
	自：2015年型インプレッサが米国IIHSの2014年安全評価で最高評価「TSP＋」を獲得
12月	自：レガシィ アウトバック／B4が最高評価のJNCAP「先進安全車プラス（ASV+）」に選定
	自：新型アウトバックが欧州の2014年安全性能総合評価で最高評価「ファイブスター」を獲得
	自：WRX搭載水平対向直噴ターボエンジンが米国ワーズ社の「10ベストエンジン」賞を受賞
	自：新型「ステラ」を発売
	自：米国IIHSの2015年安全評価で「トップセイフティピック（TSP）＋」を5車種が獲得
2015年 （平成27年）	
1月	自：インプレッサ/SUBARU XVが最高評価のJNCAP「先進安全車プラス（ASV+）」に選定
2月	企：水平対向エンジン生産累計1,500万台を達成
4月	自：新型 「CROSSOVER 7（クロスオーバーセブン）」を発売
5月	自：スバル 4車種が2014年度JNCAP「新・安全性能総合評価 ファイブスター賞」を受賞
	自：「アイサイト」を搭載するCROSSOVER 7が予防安全性能アセスメントで最高ランクを獲得
6月	自：新型「インプレッサ SPORT HYBRID」を発表
7月	自：「アイサイト」を搭載するレヴォーグ／WRX S4／レガシィが2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得
	航：新型旅客機ボーイング777Xの開発・製造に関しボーイング社との正式契約に調印
9月	航：陸上自衛隊向け新多用途ヘリコプターの開発事業を受注
	自：2016年型WRXが米国IIHSの2015年安全評価で最高評価「トップセイフティピック(TSP)+」を獲得
	自：レガシィアウトバック／B4が2015年度グッドデザイン賞を受賞
10月	産：産業機器カンパニー埼玉製作所　開設20周年
	自：運転支援システム「アイサイト」が2015年度グッドデザイン賞金賞を受賞
11月	企：「コーポレートガバナンスガイドライン」を制定
12月	自：米国IIHSの2016年安全評価で「トップセイフティピック(TSP)+」を6車種が獲得
	自：WRX搭載水平対向直噴ターボ”DIT”エンジンが米国ワーズ社の「10ベストエンジン」賞を2年連続受賞
	自：「アイサイト」を搭載するインプレッサ／SUBARU XVが2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得

年月	主要事項
2016年 （平成28年）	
1月	自：「アイサイト」を搭載するフォレスターが2015年度予防安全性能アセスメントで最高ランクのJNCAP「先進安全車プラス(ASV+)」を獲得
	自：「アイサイト」搭載車の事故件数調査結果(搭載車は非搭載車比、約6割減)を発表
2月	産：スバル汎用エンジン「EXシリーズ」をモデルチェンジ
	自：マレーシアでフォレスターのKD生産を開始
3月	自：AWD車の累計生産台数1,500万台を達成
	自：次世代プラットフォーム「SUBARU GLOBAL PLATFORM(スバルグローバルプラットフォーム)」を初公開
	自：新型「インプレッサ」をニューヨーク国際自動車ショーにて世界初公開
4月	企：日本IBMと高度運転支援システム分野での協業を開始
	航：ボーイング777X向け中央翼組立工場が完成
5月	自：水平対向エンジン発売50周年
	自：SIAでのトヨタ　カムリ受託生産を終了
	自：SUBARU WRX STIがニュルブルクリンク24時間レースでクラス優勝
8月	自：米国生産累計台数300万台を達成
	企：日本政策投資銀行の環境格付において最高ランクを初取得
	自：「スバル360-K111型」が日本機械学会2016年度「機械遺産」に認定
	自：レヴォーグが欧州の2016年安全性能総合評価で最高評価「ファイブスター」を獲得
10月	自：新型「インプレッサ」を発表
11月	自：米国でのインプレッサ生産を開始
	企：産業機器事業の2017年9月末終了を決定
	自：新型「ジャスティ」を発表
	自：運転支援システム アイサイトを中国市場へ初展開
	企：環境省「エコアクション21バリューチェーンモデル事業」を導入
12月	自：「アイサイト」を搭載する新型インプレッサ、レガシィ、フォレスター、レヴォーグ/WRX S4が2016年度予防安全性能アセスメントで最高ランクを獲得
	自：新型インプレッサSPORT/G4が「2016-2017日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
	自：新型「シフォン」を発売
	自：基準が強化された米国IIHSの2017年安全評価でアイサイトを装着した2017年型レガシィ、アウトバック、フォレスターが「トップセイフティピック（TSP）+」を獲得
	自：運転支援システム「アイサイト」搭載モデルが、世界累計販売台数100万台を達成
2017年 （平成29年）	
1月	自：米国、カナダ、豪州の2016年暦年販売が過去最高、米国は8年連続で過去最高を更新
2月	自：2017年型インプレッサが米国IIHSの2017年安全評価で最高評価「「トップセイフティピック（TSP）+」を獲得
	企：タンチョン・グループ傘下のTC Manufacturing and Assembly (Thailand) Co., Ltd.と合弁会社「Tan Chong Subaru Automotive (Thailand) Co., Ltd.」を設立
3月	自：運転支援システム「アイサイト」搭載モデルが、国内累計販売台数50万台を達成
4月	企：富士重工業株式会社が「株式会社SUBARU」に社名変更を実施
	自：新型「SUBARU XV」を発表
	自：「インプレッサSPORT/G4」・「SUBARU XV」が2016年度自動車アセスメント「衝突安全性能評価大賞」を受賞し、衝突安全性能評価で過去最高の得点を獲得
	自：北米市場専用新型3列SUVの名称を「ASCENT（アセント）」に決定
	自：インプレッサが米国Wards社の「10ベストインテリア」賞を受賞